

第21回 日本太鼓ジュニアコンクール

THE 21ST NIPPON TAIKO JUNIOR COMPETITION

第20回優勝チーム
三代目源流少年隊（大分県）



日時：2019年3月24日(日)

開場9:30/開演10:00

会場：けんしん郡山文化センター
（郡山市民文化センター）

〒963-8878 福島県郡山市堤下町1番2号

主催：  公財 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主管：東北太鼓連合 / 日本太鼓財団福島県支部

特別協力：福島民報社

後援：総務省 / 文化庁 / 福島県 / 福島県教育委員会 / 郡山市 / 郡山市教育委員会 / 郡山商工会議所 /
（公財）郡山コンベンションビューロー / 福島民友新聞社 / ラジオ福島 / NHK 福島放送局 /
福島テレビ / 福島中央テレビ / 福島放送 / テレビユー福島 / ふくしま FM

協賛：  Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

協力：(株)浅野太鼓楽器店 / (有)諏訪響太鼓店 / (株)宮本卯之助商店 / (株)丸五

*審査の妨げになりますので、会場での写真撮影・録画は一切ご遠慮願います。



ご挨拶



公益財団法人 日本太鼓財団

会 長 松 本 英 昭

第21回日本太鼓ジュニアコンクールを開催するにあたり、全国各地から日本太鼓愛好者の方々にご来場をいただき、心から御礼申し上げます。また、東日本大震災の復興に取り組んでおられる福島県で、5年ぶりにジュニアコンクールを開催できますことを、大変嬉しく存じております。

今大会は、次世代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを目的に開催するもので、当財団活動の中心に位置づける事業として実施しております。第21回目を迎える本大会は、総勢509団体5,180名が参加する予選を勝ち抜いた、国内40都道府県から59団体、及びブラジル・台湾から各1団体、合計61団体648名が出場するほか、昨年の優勝団体「三代目源流少年隊(大分)」が、日頃の練習の成果を発表するコンクールであります。

また、本大会には、上位入賞者に内閣総理大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞が供されます。出場される皆さんには、この日のために蓄えた力を存分に発揮し、ベストを尽くされることを期待するとともに、日本太鼓を通じて、思いやりや礼節を学び、全国各地の仲間との交流を図り、いつまでもそれぞれの胸に残るコンクールとなることを願っています。

日本太鼓は、「日本の伝統音楽・文化」「日本の心」を伝えるものとして、国内外から高く評価されています。当財団は、現在41都道府県に45支部を設け、加盟団体数約700団体、会員総数約19,000人を数え、太鼓界唯一の全国組織として活動しています。今後とも諸活動を通じて、日本太鼓の普及・振興に努めて参る所存です。

最後に、日本太鼓ジュニアコンクールの開催に際し、多大なご支援をいただきました日本財団及びボートレース関係者、並びにご後援・ご協力をいただきました総務省、文化庁、福島県、郡山市、福島民報社をはじめとする各関係機関、主管の東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部の温かいご支援に深く感謝申し上げます。

ご祝辞



福島県知事

内堀 雅雄

第21回日本太鼓ジュニアコンクールが、盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

全国各地から選ばれた59団体の若き太鼓奏者の皆様、さらに海外団体、特別出演の皆様が、ここ福島にお越しくださいましたことを、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、公益財団法人日本太鼓財団の皆様が本日の大会開催を迎えるまでの御尽力に、改めて敬意を表します。

震災から8年を迎えましたが、多くの皆様から寄せられた心温まる御支援により、復興の光が着実に広がりを見せております。ぜひとも、復興が進む福島の姿を感じていただき、美しい自然を始め、奥深い歴史や文化、豊富な温泉や食など、本県の様々な魅力にも触れていただければ幸いです。

芸術や文化、全国各地に伝わる伝統芸能は、人々の暮らしに潤いや生きがいをもたらし、豊かな感性を育み、地域の活力を生み出す原動力となるものであり、復興を進めていく上で大切な役割を担っております。

県といたしましても、芸術や文化の振興を通して、様々な交流を推進し、魅力ある地域づくりにしっかりと取り組み、活力に満ちたふくしまの姿を全国に発信してまいりますので、引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本コンクールの御盛会と、御出場並びに御来場の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

ご挨拶



東北太鼓連合 会長

齋藤 通夫

この度、「第21回日本太鼓ジュニアコンクール」が5年ぶりに福島県で開催されるにあたり、東北太鼓連合を代表し、心より歓迎を申し上げます。

今回は、第16回大会以来の開催になりますが、いまだ東日本大震災の傷跡が残る中での開催は、東北の地に絶大なる力をもたらしてくれるものと確信しております。

このコンクールでは、国内外から61団体が技と団結力を競い合います。出場される皆様には、練習の成果を十分に発揮し、また全国の仲間達と親睦を深めながら、最高の思い出をつくってもらえる事を期待しております。

日本太鼓は、我が国の長い歴史の中で、各地の風土や人々の生活によって育まれ進化してきた伝統文化です。ご来場の皆様には、出場者の礼節を重んじ、真摯な気持ちで太鼓に向かう姿を見ながら、温かいご声援を送ってもらえると嬉しい限りです。

結びに、今大会の開催にご支援をいただきました総務省、文化庁、福島県、郡山市をはじめ多くの関係団体の皆様に心より感謝申し上げます、ご挨拶といたします。

ご挨拶



日本太鼓財団 福島県支部 支部長
福島民報社 代表取締役社長

高橋 雅行

第21回日本太鼓ジュニアコンクールが、第16回大会以来、5年ぶりに福島県で開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全国から本県にお越しいただいた多くの皆様を心から歓迎申し上げます。

また、公益財団法人日本太鼓財団、東北太鼓連合、各支部など多くの関係者のご支援により開催できますことに厚く感謝と御礼を申し上げます。

東日本大震災から8年が経過しましたが、本県は地震や津波の被害に加えて原発事故の影響が今なお続いており、現在も約4万2千人もの方々が全国各地に避難を余儀なくされております。本大会に出場されるジュニアチームの中にも被災され多くの困難を乗り越えて参加された皆さんも多くいらっしゃると思います。近年の熊本、北海道、大阪など各地での地震による大規模災害、そして、西日本豪雨や台風など様々な自然災害などで大きな被害にあわれました皆様にもあらためてお見舞いを申し上げます。

太鼓の響きは、ふるさとへの強い思い、そして、人と地域との絆を結ぶ、大きな架け橋となっており、ふるさとへの強い思いをよりいっそう深くするものと確信いたします。今回のコンクールには、ブラジル、台湾など海外を含む61団体が出場します。様々な困難を乗り越え、日々鍛錬を重ねてコンクールに出場する皆さんが打ち鳴らす太鼓の響きは、明日への生きる力と希望につながり、次代を担う皆さんによる演奏は全国そして世界に感動と勇気をもたらすものと思います。力強い演奏に温かい拍手とご声援をお送りいただければ幸いです。

結びに、開催までご尽力いただきました関係各位、運営に携わっていただいたスタッフの皆さん、会場の皆様はじめ関係各位に心から感謝と御礼を申し上げ、あいさついたします。

審査委員紹介



石井 秀 弦

津軽三味線石井流 家元

1992年津軽三味線石井流創立。
同年5月北九州市で行われたアスパック92での開会式において秋篠宮ご夫妻の前で演奏を行う。
1996年、1997年津軽三味線全日本大会において連続優勝。最高位である仁太坊賞を受賞。
11月にはハワイにおいて石井流の公演開催。
1998年、1999年津軽三味線全日本大会団体の部連続優勝。
2001年5月『JAPAN2001 イギリス公演』開幕式公式参加し、ハイパークの公演ではメインステージを努める。
2009年沖縄那覇市に於いて「津軽三味線石井流沖縄公演」
2013年パリにてOECD日本大使館での演奏会に参加。
2014年5月津軽三味線全日本大会団体の部優勝。
同年12月書家の「紫舟」氏と在仏日本大使公邸(パリ)においてコラボ演奏。
2015年10月熊本県山鹿市にある八千代座で「市川海老蔵」氏主演の舞台に参加。
現在、津軽三味線石井流 家元、そして演奏家として邦楽の世界だけに留まらず洋楽とのコラボレーションにも積極的に参加している。



岡田 知之

(公社)日本吹奏楽指導者協会会長

1960年3月東京藝術大学音楽学部打楽器専攻卒業。4月より32年間NHK交響楽団打楽器奏者。1963年日本初の打楽器アンサンブル主宰。
1967年N響派遣によるベルリン研修。1969年国立音楽大学講師を兼務し日本の音楽大学初の打楽器アンサンブル授業開講。1975年岡田知之の打楽器合奏団結成、文化庁芸術祭優秀賞、日本レコードアカデミー賞、第15回音楽之友社賞、受賞。1992年NHK交響楽団退職、国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学教授・音楽学部長、札幌大谷大学客員教授等歴任。現在、NHK交響楽団理事。N響団友オーケストラ事務局長。(公社)日本吹奏楽指導者協会会長。日本打楽器協会会長。(公財)日本太鼓財団評議員。音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員長。洗足学園音楽大学名誉教授。
著書：「打楽器事典」「ティンパニ教本」音楽之友社、「小太鼓100曲集」共同音楽出版。
執筆：「ニューグローブ世界音楽大事典」講談社、「新編音楽中辞典」音楽之友社の打楽器項目。



喜 多 郎

演奏家

1980年、NHK制作のドキュメンタリー番組「シルクロード」の音楽を担当し、その感動的なテーマ曲は喜多郎の代表作の1つとなる。
1985年、米国ゲフィンレコードから6枚のアルバムがリリースされると喜多郎の音楽に魅せられるファンが世界で急増。1993年、「Heaven&Earth」でゴールデングローブ賞作曲賞受賞。1994年、米国Domo Recordsと契約。2001年には「Thinking of you」でグラミー賞を獲得した。
2001年のアメリカ同時多発テロをきっかけに、世界平和の祈りを込めて四国遍路八十八カ所の鐘を収録し、それらをモチーフとして楽曲を制作するという『空海の旅』プロジェクトを開始。自身のライフワークとして、現在88番寺までの曲の完成を目指している。
2007年には中国映画の巨匠チャン・イーモウ監督の水上オペラで音楽を担当し、オリジナルサウンドトラック「Impressions Of The West Lake」が2010年のグラミー賞にノミネートされた。また、すずきじゅんいち監督の日系史映画「Toyo's Camera」[442]MISへも楽曲を提供し、サウンドトラックをリリース。2007年から開始した「Love & Peace World Tour」では、2010年までに10カ国18公演を実施、世界中へ感謝と祈りのメッセージを伝えている。
2014年に始めたSymphonic World Tour でLive 録音した「Kitaro Symphony Live in Istanbul」が16回目のグラミー賞にノミネートされた。
世界でもっとも高い評価を受けている日本人アーティストの一人である。



河野 成 久

(一社)日本マーチングバンド協会公認指導員
プログラムコーディネーター・ドラムデザイナー

1991年、アメリカ中西部に本拠地を置くMadison Scouts Drum & Bugle Corps(マディソンスカウト ドラム アンド ビューグル コー)に入隊。
帰国後、日本各地のマーチングバンド指導、およびプログラムコーディネートに携わる。
楽曲アレンジやドラムデザインも提供するかたわら、海外から招聘される講師などの通訳業務も務める。



塩見 和子

(公財)日本太鼓財団理事長

1965年国際基督教大学(I.C.U.)教育学部(構造言語学を専攻)在学中より、同時通訳として活躍する。卒業後も、政治、経済、金融、医学等の技術分野において日本で初めての女性日米同時通訳グループを結成し、活躍を続ける。

1968年アメリカ国務省、カナダ政府と契約して、政府交渉及び国際会議等の同時通訳としてアメリカを中心に国際的な活動の場を広げる。

1979年帰国し、世界最大・最古のオークション会社サザビーズの日本代表に就任する。

1989年サザビーズジャパンの社長に就任し、美術品オークション制度や、日本でのサザビーズの名を定着させた。

1991年サザビーズロンドン本社経営委員会のメンバーに就任、1992年退社。

1993年財団法人日本音楽財団理事、1995年に理事長に就任、2016年からは会長就任、2018年退任。

1997年財団法人日本太鼓連盟の副会長、2003年に理事長に就任、2012年4月公益法人化に伴い公益財団法人日本太鼓財団に名称変更後も理事長に就任、現在に至る。

著書としては、1992年「いい女、いい仕事」(主婦と生活社)、1994年「女ひとり世界の歩き方」(講談社)、2001年「音楽家の肖像」(熨斗修興堂)がある。



長谷川 義

(公財)日本太鼓財団副会長

(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員

大分県由布市を拠点として1979年に「豊の国 ゆふいん源流太鼓」を発足し、以来代表として活躍している。源流太鼓の原点は、由布岳の山境、塚原峠から湯布院盆地へ毎夜響き渡る太鼓のリズム。町の中心部にある金鱗湖から湧き出た温泉が源流になり、小川になり、やがて大河となるように日本、そして世界へ故郷の音として響いてゆく。鍛え上げられた心と肉体…一打で大地を激震させ、一打に人生のすべてをかける。『ゆふいん源流太鼓』…それは男たちの魂のリズム。その原点を忘れずに、日本各地はもとより世界各国で公演し、日本の文化を発信している。

1993年、全九州太鼓連合を発足、会長に就任。

1998年、財団法人日本太鼓連盟(現在の公益財団法人日本太鼓財団)理事に就任、2008年に副会長となり現在に至る。

2011年、第8回日本太鼓シニアコンクール名人位。



古屋 邦夫

(公財)日本太鼓財団 技術委員会委員長

(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員

1948年9月14日岡谷市に生まれる。

1967年6月御諏訪太鼓に入門、宗家小口大八氏に師事、以来今年で太鼓暦52年を数える。

1970年より宗家小口大八氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。信州太鼓連盟(現在の長野県太鼓連盟)の発足に携わる。

1978年10月長野県やまびこ国体で集団演技太鼓の部で県内チームを指導する。以降、各地の団体を指導し、その数170チームを数えている。また、海外でも数多くの公演を行い、多くの海外チームを指導している。

1998年2月に開催された長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2千人太鼓等の指導を行った。

2008年10月から長野県支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。

2015年、第12回日本太鼓シニアコンクール名人位。

現在、(公財)日本太鼓財団技術委員会委員長として活躍している。

(五十音順・敬称略)

第21回日本太鼓ジュニアコンクール・プログラム

■ 開会式

■ 演奏

第1部 10:45

- | | | |
|---|-------|----|
| 1. 野州轟一番太鼓ジュニア
Yashu Todoroki Ichiban Taiko Junior Team from Tochigi | 栃木県 | 11 |
| 2. 涌谷太鼓
Wakuya Taiko from Miyagi | 宮城県 | 11 |
| 3. 和太鼓 大元組 ジュニア
Wadaiko Daigen-kumi Junior Team from Tokyo | 東京都 | 12 |
| 4. 菊陽武蔵剣豪太鼓
Kikuyo Musashi Kengo Taiko from Kumamoto | 熊本県 | 12 |
| 5. 大和の響き・京
Yamato-no-hibiki “Kyo” from Kyoto | 京都府 | 13 |
| 6. 上州吉井太鼓・若あゆ会
Joshu Yoshii Taiko “Wakaayu-kai” from Gunma | 群馬県 | 13 |
| 7. 院内童龍太鼓
Innai Doryu Taiko from Oita | 大分県 | 14 |
| 8. 和太鼓集団 夢幻の会 子ども太鼓
Mugen-no-kai Junior Team from Kagawa | 香川県 | 14 |
| 9. 養父太鼓 鼓彩
Yabu Taiko “Koi” from Hyogo | 兵庫県 | 15 |
| 10. 天城連峰太鼓
Amagi Renpo Taiko from Shizuoka | 静岡県 | 15 |
| 11. 念珠関辨天太鼓子供会
Nezugaseki Benten Taiko Junior Team from Yamagata | 山形県 | 16 |
| 12. 海老名東柏太鼓
Ebina Tohaku Taiko from Kanagawa | 神奈川県 | 16 |
| 13. TAKERU の会 真
Takeru-no-kai “Shin” from Chiba | 千葉県 | 17 |
| 14. 霧島九面太鼓保存会 郷花
Kirishima Kumen Taiko “Haruka” from Kagoshima | 鹿児島県 | 17 |
| 15. あそびっ鼓組 “遊”
Asobikko-kumi “Yu” from Aomori | 青森県 | 18 |
| 16. 寿子ども蝦夷太鼓同好会
Kotobuki Kodomo Ezo Taiko Club from Hokkaido | 北海道道東 | 18 |
| 17. 岩手県立大船渡東高等学校太鼓部
Ofunato Higashi High School Taiko Club from Iwate | 岩手県 | 19 |
| 18. 和紙の里 和雅美太鼓
Washi-no-sato Wagami Taiko from Fukushima | 福島県 | 19 |
| 19. 越中いさみ太鼓保存会 春蘭
Etchu Isami Taiko Shunran from Toyama | 富山県 | 20 |
| 20. 太鼓衆 多仲や 一門
Taiko-shu Tanakaya Ichimon from Hokkaido | 北海道道西 | 20 |

課題曲：『凜』
作曲：長谷川 義

第 2 部 13 : 30

- | | | |
|--|-------|----|
| 21. 駒王太鼓 嵐
Komao Taiko "Arashi" from Saitama | 埼玉県 | 21 |
| 22. 二丈太鼓「恬」
Nijo Taiko "Shizuka" from Fukuoka | 福岡県 | 21 |
| 23. 松明太鼓小若組 嵐
Taimatsu Taiko Kowaka-kumi "Arashi" from Fukushima | 福島県 | 22 |
| 24. 人吉ねぶか太鼓
Hitoyoshi Nebuka Taiko from Kumamoto | 熊本県 | 22 |
| 25. 日南太鼓衆「爽空」
Nichinan Taiko-shu "Sora" from Miyazaki | 宮崎県 | 23 |
| 26. 熊本市立必由館高等学校 和太鼓部
Hitsuyukan High School Taiko Club from Kumamoto | 熊本県 | 23 |
| 27. 関西福祉大学金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」
Kansai University of Social Welfare Konkotoin High School Taiko Club "Kokyo" from Osaka | 大阪府 | 24 |
| 28. はいばら太鼓保存会
Haibara Taiko from Shizuoka | 静岡県 | 24 |
| 29. 特定非営利活動法人 転輪太鼓
NPO Tenrin Taiko from Aichi | 愛知県 | 25 |
| 30. 輪島・和太鼓 虎之介
Wajima Wadaiko Toranosuke from Ishikawa | 石川県 | 25 |
| 31. 麗澤瑞浪中学・高等学校太鼓部
Reitaku Mizunami Junior and Senior High School Taiko Club from Gifu | 岐阜県 | 26 |
| 32. 信州辰野太鼓 チームYou
Shinsyu Tatsuno Taiko Team "You" from Nagano | 長野県 | 26 |
| 33. 和太鼓たぎり
Wadaiko Tagiri from Fukuoka | 福岡県 | 27 |
| 34. 明德義塾中学・高等学校和太鼓部 太鼓衆魅鼓
Meitoku Gijuku Junior and Senior High School Taiko Club Taiko-shu Miko from Kochi | 高知県 | 27 |
| 35. 掛合太鼓ジュニア
Kaakeya Taiko Junior Team from Shimane | 島根県 | 28 |
| 36. 火の神乙女太鼓 爽
Hi-no-kami Otome Taiko "So" from Kagoshima | 鹿児島県 | 28 |
| 37. 神楽岡太鼓 子龍
Kaguraoka Taiko Koryu from Hokkaido | 北海道道北 | 29 |
| 38. 室蘭和太鼓會
Muroran Wadaiko-kai from Hokkaido | 北海道道南 | 29 |
| 39. 青山高等学校 和太鼓部 葵
Aoyama High School Taiko Club "Aoi" from Mie | 三重県 | 30 |
| 40. 松川一の宮太鼓 はな組
Matsukawa Kazunomiya Taiko Hana-kumi from Iwate | 岩手県 | 30 |

第3部 15:45

41. 田島太鼓 龍巳会「白鼓」 Tajima Taiko Tatsumi-kai “Byakko” from Fukushima	福島県	31
42. 手取亢龍若鮎組 Tedori Koryu Wakaayu-kumi from Ishikawa	石川県	31
43. やまばと太鼓 Yamabato Taiko from Akita	秋田県	32
44. 神洲八幡巫太鼓 Shinshu Yahata Kannagi Taiko from Fukuoka	福岡県	32
45. 太鼓研修センター「響」 Taiko Training Center “Hibiki” from Miyazaki	宮崎県	33
46. 沼垂小学校 万代太鼓 鼓助 Nuttari Elementary School Bandai Taiko Kosuke from Niigata	新潟県	33
47. 大和太鼓保存会 鼓天童子 Yamato Taiko Kotendoji from Saga	佐賀県	34
48. 東京都立美原高等学校和太鼓部「和心響華」 Mihara High School Taiko Club “Washinkyoka” from Tokyo	東京都	34
49. 橋太鼓「響座」ジュニア Tachibana Taiko “Hibikiza” Junior Team from Miyazaki	宮崎県	35
50. 福井県立福井農林高等学校郷土芸能部 Taichi Fukui High school of Agriculture and Forestry Local Performing Art Club “Taichi” from Fukui	福井県	35
51. 橋本流地獄太鼓和太鼓會 Hashimoto-ryu Jigoku Taiko Wadaiko-kai from Hokkaido	北海道道央	36
52. 甲斐和太鼓衆 信玄太鼓 飛竜 Kai Wadaiko-shu “Shingen Taiko Hiryu” from Yamanashi	山梨県	36
53. おおむら太鼓連くじら太鼓 Omura Taiko-ren Kujira Taiko from Nagasaki	長崎県	37
54. 波崎はやうち太鼓保存会 Hasaki Hayauchu Taiko from Ibaraki	茨城県	37
55. 橋本流みゆき太鼓 Hashimoto-ryu Miyuki Taiko from Hokkaido	北海道道南	38
56. 大和の國 鼓粹 Yamato-no-kuni “Koiki” from Nara	奈良県	38
57. 児島瑜伽太鼓 Kojima Yuga Taiko from Okayama	岡山県	39
58. 太鼓童子こかぶ広島 Taiko Doji Kokabu Hiroshima from Hiroshima	広島県	39
59. 不知火太鼓 Shiranui Taiko from Saga	佐賀県	40
60. ドラセーナ清心太鼓 Dracena Seishin Taiko from Brazil	ブラジル	41
61. 柏齡太鼓團 Hakurei Taiko-dan from Taiwan	台湾	42

特別演奏

三代目源流少年隊 Third Generation Genryu Shonen-tai from Oita	大分県	43
---	-----	----

■表彰式

■閉会式

*コンクールの出場順番は、公正を期すため2019年1月11日(金)に開催された日本太鼓財団第63回運営委員会並びに第64回技術委員会において抽選を行い決定したものです。

*コンクールの優勝チームは、次回コンクール(2020年3月22日(日)愛知県名古屋)で特別演奏を行うことになっておりますので次回コンクールには出場できません。

審査要領

本コンクールの審査については、公益財団法人日本太鼓財団が定める「日本太鼓ジュニアコンクール開催要領」に基づいて行われます。

第7条 コンクールの審査は、基準に基づいて厳正に行い、その運営も公正でなければならない。

2 審査方法は、次のとおりとする。

- (1) 審査委員により行う。
- (2) 審査委員は、原則として、5名以上10名以内とし審査委員長1名を選任する。
- (3) 審査委員は、当財団会長が委嘱する。
- (4) 審査委員長は、予め審査員と会議を持ち、審査要領及び審査基準等の打合わせを行う。
- (5) 審査委員は、採点表（別表）に従い各項目を採点する。
- (6) 審査の対象は、課題曲並びに自由曲とする。

3 審査基準は、次のとおりとする。

- (1) 課題曲と自由曲を含め5分以内とし、太鼓の打ち始めから打ち終わりまでとする。なお、演奏時間を超過した場合は失格とする。この場合、担当者3名以上を置き計時する。
- (2) 台詞、歌、伴奏の楽器による演奏は演奏時間にはいるものとする。
- (3) 演奏は、伴奏を含めて生演奏とする。
- (4) 審査の採点は、100点満点制とする。
- (5) 審査項目は、次の5通りとする。
 - ① 礼節・衣装
しっかりした挨拶、身のこなし、太鼓に向かう毅然とした態度か、また、太鼓演奏にふさわしく衣装が青少年らしいかをポイントにする。
 - ② 構え・打法
腰を落とした安定ある姿勢、体全体で打ち込んでいるか、また、パチさばきと振り、正確な打法、太鼓本来の音が出ているかをポイントにする。
 - ③ 演奏技術
演奏技術が身についているか、その技術レベルが高いかをポイントにする。
 - ④ 音楽表現
曲想に合った演奏（強弱・速度等）とのバランス及び、笛、鉦等との調和がとれているかをポイントにする。
 - ⑤ チームワーク
チーム全体が意気のあった演奏をしているかをポイントにする。

第21回日本太鼓ジュニアコンクール出場団体紹介

1

や しゅうとどろき いち ばん だい こ 野州轟一番太鼓ジュニア

栃木県



演奏曲

や しゅう やま かみ 野州山の神

代表者: 細川 智彦

猪瀬 七頌 / 宮下 宗大
伏見 彰悟 / 芳澤 杏音
成瀬 葵 / 大門 来恭
平山 智大 / 茂田 菜々美
平山 望愛 / 宇都木 桃海
齊藤 吏玖 / 宮下 慧大
瀧澤 翔大 / 芳澤 柚音

野州とは、江戸時代の栃木県のことです。「子ども達が誇れる郷土づくり」を目指し、2001年に設立しました。「魅せる太鼓」を常に追求し、これまで矢板市長から矢板市民力顕彰、栃木県青少年育成県民会議から功労団体表彰を受賞し、また、2013年の「とちぎTV和太鼓コンテスト」では、一般の部週間最多得票賞、今年の7月に長野県で開催された「岡谷太鼓まつり世界和太鼓打ち比べコンテスト」では4位を獲得しました。

本日演奏する「野州山の神」という曲は、雄大な山々に囲まれた我が故郷で、人間が自然という神に生かされ、一体となって生きる喜びを表しています。大きく、ダイナミックな、迫力ある演奏をお楽しみください。

2

わく や だい こ 涌谷太鼓

宮城県



演奏曲

きょう めい 響 鳴

代表者: 三浦 政章

菅原 大地 / 香川 郁人
山内 拓実 / 畑山 楓希
成澤 智宏 / 笠間 理子
大平 優希

私達の涌谷太鼓は、昭和59年秋、伊達安芸宗重居城の城山公園の太鼓堂に大太鼓壺基の寄贈を受けた事をきっかけに昭和60年春、子どもを中心とした構成で結成をしました。

我が町は今より1200年も前、当時造営中の東大寺大仏に塗る金を日本で初めて掘り出した黄金山やササニシキの本場大崎耕土を潤し大地に恵みを与える江合川や坂上田村麻呂開基と伝えられる五穀豊穡の守り神、篁岳山麓峯寺など豊かな自然に恵まれた悠々の歴史を持つ町です。

この子ども達は歴史ある町に新しく築き上げる伝承芸能の担い手となるべく週2回の練習を重ねてまいりました。やがて涌谷太鼓の音を大きく響かせる事ができる打ち手になれる事を夢に見て…。

3

わ だい こ だい げん ぐみ 和太鼓 大元組 ジュニア

東京都



演奏曲

つるぎ
劔

代表者: 湯澤 元一

中川 彩佳 / 林田 将斗
伊藤 凜 / 新井 羚央
清水 彩來 / 小林 愛佳
山本 亜海 / 相川 想弥
山口 昊輝 / 佐藤 瑛人
川鍋 壮吾 / 岩崎 木香
安松 航基 / 喜舎場 虎哲

「和太鼓 大元組 ジュニア」は、大田区蒲田にある邦楽カルチャースクール「邦楽アカデミー」が母体となって2003年より活動しております。

「和太鼓 大元組」は東京で独自のスタジオを立ち上げ、ジュニアに限らず数多くの方々に「和太鼓」の魅力を伝えられるよう日々活動しております。本日はジュニアチームが、東京の代表として恥じない演奏を元気いっぱいさせて頂きます。

4

きく よう むさし けん ごう だい こ 菊陽武蔵劔豪太鼓

熊本県



演奏曲

ごう けつ
豪 傑

代表者: 坂口 繁幸

川口 悠斗 / 堀田 幸
前田 実空 / 山戸 美亜
田上 誠樹 / 松岡 隼
山崎 光祐 / 堀田 衣未
山崎 圭琳 / 田上 香菜
岩永 果倫

私たち菊陽武蔵劔豪太鼓は昭和60年に発足して34年目を迎えています。

週2回の練習で、町内のイベントからボランティア活動等に積極的に参加しています。

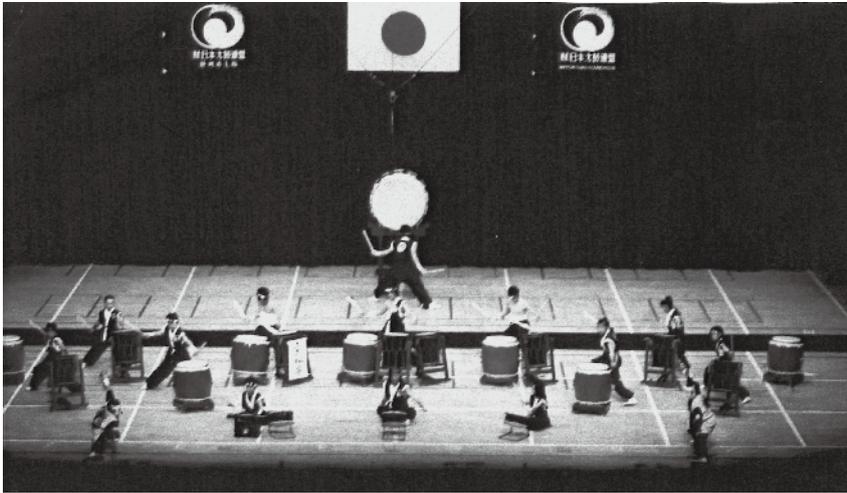
昨年に続き3回目の出場ですが、今回は豪傑という曲で挑戦します。

豪傑とは武勇に優れ、力強く、肝っ玉の座っている人。俗に小事に拘らず、思い切った事をする人。まさに私たちの名前の由来である宮本武蔵です。豪快でありながら繊細でもある武蔵を太鼓で表しています。

5

やまと ひび きょう
大和の響き・京

京都府



演奏曲

へい あん みや こ
平安の都鼓

代表者: 富治林 浩

奥田菜々華／川七 瞳子
中尾 暁／斉藤 咲葵
林 佐和／斉藤 實太

1998年冬季長野オリンピック出場の際、京都府下太鼓好きのジュニアが集まり、1997年チーム結成。以来、「心技態」をテーマに、ジュニアの育成を目的とし「太鼓で学ぶ」練習を継続中。

社会的意義のある演奏活動にも取り組んでいる。最近では、リーダーを中心にメンバー一同、意見を出し合い、古都京都のイメージでオリジナル曲を創作できるまで成長し、意気も上がり、心を合わせ練習にはげんでいます。20周年記念を迎える。

6

じょうしゅう よし い たい こ わか かい
上州吉井太鼓・若あゆ会

群馬県



演奏曲

ぎん が
銀河

代表者: 武田 文明

武田 千明／武田 明也
金井 寿還／金井 芳穂
黒岩歩乃果／鈴木 葉奈
中島綺唯奈／秋村 彩音
小坂橋凜珠／三友 優花
原田 謙信

群馬県高崎市吉井町を拠点に活動している上州吉井太鼓・若あゆ会です。一昨年にユネスコ「世界の記憶」に登録された「上野三碑」を始めとする歴史ロマンあふれる田園地帯。そこを横断する鐮川は、鮎の棲む清流として近隣の人々に親しまれてきました。その飛び跳ね泳ぐ元気な若鮎の様であればとチーム名「若あゆ会」としました。

週2回の練習を基礎に、元旦の牛伏山ご来光演奏から年末の定期演奏会まで年間数十回の祭・イベント出演、福祉施設での慰問演奏活動、夏休みには研修・合宿を行って技術の向上・会員の親睦を図っています。

明るく楽しく元気よく。息の合った力強い演奏をお楽しみください。

7

いん ない どうりゅう だい こ
院内童龍太鼓

大分県



演奏曲

ち しん
地心

代表者: 河野 正治

原田 悠仁 / 木村 光佑

井上 向日葵 / 福原 叶愛

佐藤 愛心 / 石川 千夏

佐藤 心道 / 井上 花

中野 勇人 / 西谷 倅雪

佐野 心 / 永野作之助

大分県の北部、宇佐市院内町には、西椎屋の滝という名瀑があります。この滝に棲むと古より伝えられる龍のように、勇壮にかつ時を超え語り継がれるような太鼓を打ちたいと院内童龍太鼓は1993年に発足しました。

今回出場するメンバーは、小学生から高校生まで幅広い年齢層で構成しています。週2回の練習の中で技術の向上だけでなく、上級生と下級生がお互いを認め合いながら切磋琢磨してきました。

「地心」という曲も、大地から湧き上がる力、収穫の喜びなどをどう表現したらよいか、みんなで苦心してイメージを作りました。この曲が皆さんの心にいつまでも残ることを願って一生懸命演奏します。

8

わ だい こ しゅう だん む げん かい こ だい こ
和太鼓集団 夢幻の会 子ども太鼓 香川県

演奏曲

はやて やしま たたか
疾風～屋島の戦い～

代表者: 奥村 文浩

村杉 美香 / 村杉 真歩

村杉 芽衣 / 多田 爽汰

鶴崎 遥 / 豊田 芯ノ介

養田 虎太郎 / 養田 凜

山家 純 / 石川 卓聖

平成12年に、福井越前権兵衛太鼓八代目玉村武氏作曲の「いん石流れ打ち」の保存、並びに組太鼓の協調性を追求し、真の和太鼓集団を目指すべく志を同じくする者が集い、和太鼓集団夢幻の会を結成しました。

『夢幻の会子ども太鼓』は、平成15年10月に活動開始し、幼稚園児・小学生・中学生を中心とした和太鼓集団です。2014年に福島県で開催された第16回日本太鼓ジュニアコンクールへの初出場を皮切りに、楽曲「宇宙の石」により、2016年、2017年にも特別賞を受賞するなど、香川を代表する和太鼓集団です。

9

 やぶ だい こ こい
 養父太鼓 鼓彩

兵庫県



演奏曲

 らい こう まい
 雷光の舞

代表者：奥藤 啓

 森元 ひな／榎井日南子
 北垣つむぎ／高品 志帆
 奥藤 愛／奥藤凜太郎
 坂本 流星／北垣しきぶ
 津崎 駿人／奥藤宗之助
 津崎ひなた／田村 舞桜
 奥藤ちひろ／森元 天
 北垣 慶悟

平成21年に「和太鼓を続けたい、もっと楽しみたい」とした養父市在住のメンバーで結成し今年で10年目を迎えました。和太鼓を学び技術の向上を図るとともに、礼儀と節度を身につけることを目的に活動し、地域でのイベントや老人福祉施設への慰問演奏などを行っています。

曲は「雷光の舞」。ポツリポツリと降り出した雨がしだいに激しさを増し、大地に轟く雷鳴、そして、曇天を切り裂く雷光。力強さと激しさのなかに、光をまとった龍が優雅に舞い、まるで闇夜を駆け抜けているような躍動感を表現しました。

子ども達ひとりひとりがイメージを共有し、一本の光に向かって心を一つに、自分たちの思いを太鼓の響きに乗せて全力でお届けします。

最後に、龍の咆哮と共に消え入る「雷」の余韻をお楽しみください。

10

 あま ぎ れん ぼう だい こ
 天城連峰太鼓

静岡県



演奏曲

 だ だ らん らん
 打打乱乱

代表者：堀江 富男

 鈴木 颯太／堀江 光希
 古見有梨奈／古見 朱理
 栗山 友見／堀江 敬介
 鈴木 優太／山本 莉奈
 堀江 哲平／山口 汐風
 佐藤京志郎／國府方北斗
 田中 旬華／梅原 和香

平成元年、町の伝統を作ろうと有志で結成した和太鼓チームです。

私たちの活動拠点の静岡県伊豆市天城湯ヶ島地区は周囲を雄大な天城連山に囲まれ、中央を清らかな狩野川が流れる大自然に恵まれた温泉宿場です。会名の“天城連峰太鼓”もこの天城連山にちなんで名付けました。主に地域のお祭り、施設への慰問に参加し演奏活動をしています。

私たちの目標は地域の伝統文化となって行く事であり、目標に近づく様にメンバー全員で一生懸命に活動しています。今回は、創作曲「打打乱乱」を演奏いたします。メンバーは13歳から18歳までの、太鼓に入門し3年から8年の子供達です。天城の大自然を太鼓の音で表現したいと思います。よろしくお祈りいたします。

11

ね ず が せ き べ ん て ん だ い こ こ ど も か い 念珠関辨天太鼓子供会

山形県



演奏曲

れっ ふう すりー

烈風Ⅲ

代表者: 鈴木 泰蔵

出場者11名

平成5年に結成。保育園児から鼠ヶ関小学校と温海小学校の児童1年生から6年生まで27名で活動しています。太鼓を通して子供らしく明るく元気よく挨拶する事、つらいことがあっても何事にもくじけずチャレンジする気持ちを持てる子供になろうと、稽古に励んでいます。園児と1・2年生のアオコチーム、3・4年生のイナダチーム、5・6年生のプリチームの3クラスに分けて、各種イベントなど年間15回ほど演奏を行っています。

12

え び な と う は く だ い こ 海老名東柏太鼓

神奈川県



演奏曲

は どう 波 濤

代表者: 嶋田 昭彦

嶋田 千優 / 嶋田 健大
嶋田 大幹 / 渡辺 拓弥
森田 愛結 / 本持 風稀
落合 和 / 薄衣 華恋
大附 はな

相模国、悠久の流れ相模川を懐に抱き、恵まれた自然の地、市場の開場を知らせる太鼓をすえたと伝えられる大谷太鼓塚のあるまち、歴史と文化を発祥する海老名に1980年、海老名東柏太鼓は誕生しました。また、2000年、海老名郷土芸能文化奨励団体第1号として認定を受けました。

今回演奏するのは波濤という曲です。波濤という言葉には、空間の一点に生じる振動という意味があります。私たちはその様子を、心をひとつにし、音を一つひとつ合わせることで波がうねる様な動きを太鼓で表現しました。その鼓動は、勇壮華麗でダイナミックであり、また変じて、穏やかで繊細な響きとなります。聴く人の心を魅了出来るように一生懸命演奏させていただきます。

13 たける かい しん **TAKERUの会 真**

千葉県



演奏曲

ぼっしょん
情熱

代表者: TAKERU

野島璃乃佳 / 川名 崇太

小笠原 快 / 會田 一心

田中 日菜 / 榎本 真央

2012年、和太鼓奏者TAKERUの主催する教室より、有志メンバーで結成された強化チームです。

『心・技・体』の精神で太鼓道に励み、観ている方々の心に残るような演奏を目指しています。2度目となる全国大会に挑む姿勢は、まさに『情熱!!』千葉県代表として精一杯演奏させていただきます。

14 きり しま く めん だい こ ほ ぞん かい はる か **霧島九面太鼓保存会 郷花**

鹿児島県



演奏曲

み やま だい こ
深山太鼓

代表者: 脇元 勝己

諏訪 鉄崇 / 井上 はな

古川 壱晴 / 岩戸 琶響

堀口 優海 / 古川 千夏

厚地 美宝 / 本村 さくら

鹿児島県は北部に位置する霧島を拠点に活動している霧島市指定文化財の霧島九面太鼓保存会。^{はるか}郷花はこの保存会の中高生で構成されてるジュニアグループです。

地元の「霧島高原太鼓まつり」がきっかけで結成され、九面太鼓と共に活動しながら和太鼓の習得だけでなく和太鼓を通じて礼儀作法も学びながら、現在8名で活動中です。

メンバーは地元の高校生1名、中学生7名で3つの異なる学校に通いながらも練習を重ね、地元を愛し、霧島の花となれるように頑張っています。

日本で最初に国立公園に指定された霧島…

霧島連山の雄大さ、天孫降臨の神話に想いを馳せ、風光明媚な霧島で生まれ育った私たちが、先輩方の残して下さった伝統曲に霧島の自然を感じていただけるように気持ちを込めて演奏致します。

15 あそびっ鼓組“遊”

青森県



演奏曲

あら なみ
荒波

代表者: 豊川 悦子
豊川 愛彩 / 佐藤 奏奈
熊谷 うた

北国の冬の海の激しい荒波を表現しています。今回は高校生たちの部活動や受験生が多く参加を断念していましたが、挑戦したい！という3名の強い意志で参加を決めました。

人生において何度も訪れる荒波をこの曲を思い出し、乗り越えてほしいと思います。

16 寿子ども蝦夷太鼓同好会

北海道道東



演奏曲

きらいげん ほっかい ひび
去来現 北海の響き

代表者: 中野 智仁
佐々木瑠奈 / 吉岡 栞
奥野 彩華 / 半田 絢瀬
村岡 葉那 / 栢本 小暖
米澤 日和 / 平山 真
佐々木琉栖

寿子ども蝦夷太鼓同好会は、旧北海道釧路寿小学校に昭和54年に結成され、親会の北海道くしろ蝦夷太鼓保存会、学校関係者、地域の方々、会員保護者の協力を得て運営し、現在、北海道釧路市立中央小学校を拠点にした和太鼓の同好会として、小学生の会員のみで活動しています。郷土芸能の振興と芸術文化の向上に貢献しようと学校行事や釧路市、地域のイベントやお祭りに積極的に参加し、活動を続けています。

17

いわ て けん りつ おお ふな と ひがし こう とう がっ こう たい こ ぶ

岩手県立大船渡東高等学校太鼓部

岩手県



演奏曲

だい のう だい こ

大農太鼓

代表者: 川村 俊彦

千田	南瑠	／	杉山	昇太
菊地	紗姫	／	鈴木	結愛
前田	敦己	／	千葉	優斗
及川	友介	／	菅原	颯人
小山	祐奈	／	伊藤	らな
新田	美貴	／	山田	鈴

大船渡東高等学校は、岩手県気仙地方唯一の総合的専門高校として平成20年に開校し、今年度、創立10周年記念式典を開催いたしました。『大農太鼓』として旧岩手県立大船渡農業高等学校時代に発足し、以来40年を超えて培われてきた伝統と志を受け継ぎ、現在は岩手県立大船渡東高等学校太鼓部として活動しています。

現在、1年生から3年生まで合計12名の部員が所属し、地域での演奏活動を通して郷土芸能の保存と普及に努めながら、日本太鼓ジュニアコンクール出場を目指して練習に励んできました。

18

わ し さと わ が み だい こ

和紙の里 和雅美太鼓

福島県



演奏曲

ふう が

風雅

代表者: 今野 亜矢

堀川	美海	／	菅野	那音	
新谷	美音	／	菅野	うらら	
	佐藤	あかり	／	栗崎	七海

私達「和紙の里 和雅美太鼓」は平成8年に結成以降、福島県や二本松市の豊かな自然を和太鼓で表現してきました。

私達の住む二本松市は藩政時代から菊の愛好家が多かったことから菊の城下町とされ、毎年秋に「二本松の菊人形」や、日本三大提灯祭りのひとつ「二本松提灯祭り」が行われており、艶やかな菊の花が霞ヶ城を華やかに彩り、城下町に太鼓の音色が響き渡ります。

本日演奏する曲はそんな城下町二本松市の夏が終わり爽やかな風が流れ、優美な賑やかな秋を迎える様子を表現した曲です。

チーム一丸となり心をひとつに演奏したいと思います。

19

えっ ちゅう だい こ ほ ぞん かい しゅんらん 越中いさみ太鼓保存会 春蘭

富山県



演奏曲

らん

代表者: 高木 民雄
 廣井 美玖 / 齊藤あかり
 片田 結菜 / 野村日向子
 森田 善心 / 織田倫太郎
 織田寿々音 / 亀田 結菜

我々、越中いさみ太鼓保存会は富山県砺波市野村島の鎮守桑野神社の神事に起因し、1952年には富山県で最初の保存会を結成し、2013年には結成60周年を迎えることができました。

会員構成は大人の部と子どもの部があり、大人は皆、子どもの頃から続けているものばかりです。大人になって自分の子どもに教える形で参加し、中には親子3代で参加しているものもあり、これによって受け継がれてきたとも言えます。

基本の演奏は笛・地方にあわせて打ち込む曲打ち太鼓で、打ち込みの力強さとパチさばき、これを生み出す為の音の間の取り方、体さばきに特徴があります。太鼓に合わせて笛や鳴り物等を使う団体は多いのですが、笛(曲)に合わせて打ち込む太鼓は珍しいと思われます。全国講習会等の専門講座「三ツ打講座」を受けられた方は体感されたかと思ひます。

今回出場します「春蘭」はこれまで女人禁制だった当団体に、新たな風を吹かせるため結成された、女子中心のチームです。いさみ太鼓の伝統を守りながら精一杯演奏し、みなさんの目と耳に残るよう、力を出し切りしたいと思います。

20

たい こ しゅう た なか いち もん 太鼓衆 多仲や 一門

北海道道西



演奏曲

ひかり さ き ぼう みち
光差す 希望の道

代表者: 田中 浩照
 金子 仰輝 / 筒渕 史帆
 山口 煌斗 / 尾形 萌
 今井 璃桜 / 筒渕 敬斗
 高塚 大翔 / 宮谷帆乃佳
 荒井智菜美

平成18年、南空知、岩見沢の大地を背景に、和太鼓の魅力に取りつかれた小学生から社会人までの20名で構成されたチームです。「鼓道童心」、一太鼓の道はわらべの心一を基本理念とし、青少年が本来持っている、純粹で、穢れのない、素直な心で、無心に打ち込む太鼓を目指し、市内はもとより道内各地で演奏活動をおこない、今年12年目を迎えます。

ダイナミックでエネルギッシュな演奏となるよう練習に練習を重ね先輩たちの指導、叱咤激励に耐えて今日の日を迎えることとなりました。今日はその練習の成果を、悔いを残すことなく出し切れるよう精いっぱい表現したいと思っています。

21

こま おう だい こ あらし 駒王太鼓 嵐

埼玉県

演奏曲

いっ しん
一心



代表者: 嶋田 浄

関根 佳弥 / 岡野 実瑠

新井 和奏 / 大工原 柚果

郡司 蒼生 / 船戸 琉愛

杉山 聖哉 / 竹内 翔己

戸田 樹 / 戸田 陽

大嶋 あかね / 船戸 奏愛

駒王太鼓 嵐は、平成2年に結成され、創立29周年を迎える駒王太鼓愛好会が指導するジュニアチームです。駒王太鼓は嵐山町で生まれた源義仲公(幼名駒王丸)の波乱に満ちた生涯を太鼓で表し、創設以来、嵐山町の伝統芸能として後生に伝承されることを常に念頭に置き、嵐山太鼓祭りをはじめ、町内外の記念式典、小中学校での体験教室、各種イベントでの太鼓演奏に積極的に取り組んでいます。現在は36名のメンバーで、日本の伝統的な文化である和太鼓の紹介や、創作太鼓の魅力や楽しさを、一人でも多くの方に伝えたいと願い、積極的に活動しています。

22

に じょう だい こ しずか 二丈太鼓「恬」

福岡県

演奏曲

きずな
絆



代表者: 田中 茂雄

上林山 遥希 / 畑中 葉花

南阪 和成 / 山崎 未央

金丸 蘭 / 中田 いこい

岩永 和佳南 / 仲西 昂流

守田 柚月 / 有田 菜々香

有田 莉々香 / 重富 和楽

永島 彩花 / 鏡 詩月

鏡 壮真

糸島市は福岡県福岡市と佐賀県唐津市の間にあり、自然豊かな地域です。日本最大の銅鏡「内行花文鏡」が発見されるなど、古代は大陸との玄関口として、また、江戸時代には筑前藩(黒田藩)として博多文化を福岡と共に育んできた地域でもあります。二丈太鼓「恬」は福岡県糸島市にある糸島二丈絆太鼓より派生した中高校生のチームです。本日演奏する曲は先輩達が歩いてきた道を初代OBが監修作成してくれました。絆を感じることができる演奏を目指して頑張ります。

23

たいまつ だい こ こ わか ぐみ あらし 松明太鼓小若組 嵐

福島県



演奏曲

せい らん
青 嵐

代表者：渡邊 達雄
鈴木 藍里／渡辺 龍斗
佐藤 由梨／小松田桃香
渡邊マナカ／橋本いつき
大河原 渉／木島 天音
斑目 穂高／濱野 萌香

晩秋の空を赤々と焦がす火祭りとして400余年の伝統を持つ「須賀川松明あかし」。

毎年11月の第2土曜日に開催されるこの祭りを“音”で盛り立てようと、平成元年に創設された「奥州須賀川松明太鼓保存会」の後継者育成事業として平成2年に誕生した松明太鼓小若組。「小若組 嵐」は、中学生と高校生のメンバーのみで構成するチームとして平成22年より活動をスタートしました。「松明あかし」をはじめ、地元のイベント等に出演。メンバー全員が小若組（小学生）から続けており、現在は40名が所属しています。ひたむきに太鼓を打ち込む姿と、そこから生み出される響きが、大きなエネルギーを持つ嵐ながら轟きわたるように、全身で打ち鳴らします。

24

ひと よし だい こ 人吉ねぶか太鼓

熊本県



演奏曲

ひ くに
火の國へ

代表者：渡辺 孝昭
椎葉 有生／村上 乃杏
大戸 愛／吉鶴 萌花
椎葉 春哉／新門 大空
椎葉 美風／薮 絆生
新門 泰斗／加藤 清星
椎葉 皇紀／薮 結洋

私たち人吉ねぶか太鼓は今年で結成34年を迎えます。今までの曲を集約して、ひとつの曲で表現していきます。これからも、一打一打を大切に精進していきたいと思ひます。

25 にちなんたいこしゅうそら 日南太鼓衆「爽空」

宮崎県



演奏曲

れん
蓮

代表者: 中津洋二郎

遠藤 凜花 / 竹内 悠人
金倉 愛果 / 宮川 篤海
藤浦 未羽 / 坂本 泰樹
山田 優夏 / 竹内 唯夏
日高隼也人 / 日高 優心
藤浦 柚菜

宮崎県南地区で活動している太鼓団体より、有志により発足いたしました「日南地区太鼓保存会」は、次世代の青少年の健全育成を推進しながら、地域コミュニティの発展に寄与することを目的に平成19年6月に日南市を中心に小学生から高校生までのジュニアチームを結成いたしました。

「どこまでも続く青い海、ふりそそぐ太陽、飢肥杉の山々、吹きぬける爽やかな風、そのすべてをつつみ込む青い空…みんなが見上げる爽やかな空のようでありたい」この日南の情景とチームの気持ちを込めた名前のようになれるよう日々精進したいと思っています。

26 くまもと しりつひつゆうかんこうとうがっこう わだいこぶ 熊本市立必由館高等学校 和太鼓部 熊本県



演奏曲

ひごまる
肥後の鼓舞

代表者: 鹿子木賢輔

今村 美咲 / 小松野友里
菊川 拓海 / 朝熊 七彩
村中 綾香 / 古閑 愛梨
多賀 菜月 / 川口さくら
本田明日生 / 深見 剛
星子 美月 / 宮本 絵鈴
丸岡 彩音 / 鋤守 啓希
村上 美鈴

私たち必由館高等学校和太鼓部は、初心者でもできる部を作ろうということから発足し、今年で活動18年目を迎えました。全員が高校入学からの素人ですが、お互い切磋琢磨し、どんなことも乗り越え、心身共に成長してきました。「心をひとつに和」の精神の下、常に笑顔と感謝の気持ちを忘れることなく、稽古に励んでいます。

演奏曲「肥後の鼓舞」は、肥後熊本の豊かな自然やここに暮らす人々を太鼓の舞で表現したもので、阿蘇山や熊本城に代表される熊本の雄大さと力強さ、そして人々の大らかさを表現します。私たちののはち切れんばかりのエネルギーと躍動感を感じていただければ幸いです。一打、一振りに心を込めて演奏いたします。ご声援よろしくお願ひ致します。

27

かんさいふくしだいがくこんこうとういんこうとうがっこうわだいくおふ こきょう
関西福祉大学金光藤蔭高等学校和太鼓部“鼓響” 大阪府



演奏曲

ぜろ
零～ZERO～

代表者: 中山 幸二
 西村 悠慎 / 西谷 真琴
 立藤 優岳 / 島田 威吹
 松本 海音 / 霄 蓮

関西福祉大学金光藤蔭高校は大阪市にある高校で、和太鼓部は創部19年目を迎えました。和太鼓部の“鼓響”という名前には、私たちの太鼓に対する熱い思いが、太鼓の音のように遠くまで、心の奥底まで響き渡ってほしいという願いが込められています。また、「こきょう」という音は、「ふるさと」という意味の「故郷」にもつながっており、ふるさとの懐かしさや安らぎを感じられるような温かさ、ふるさとの山のように頑として動かない力強さの両面を持ち合わせた太鼓打ちとして、舞台上に立ちたいという気持ちも同時に込められています。私たちは、この“鼓響”という名前の由来を大切に、よりいっそう精進を積み重ねたいと思います。

28

だいくおほぞんかい
はいばら太鼓保存会 静岡県



演奏曲

りゅうもん
龍門

代表者: 松井 工
 平松 愛深 / 永田 瑠菜
 糸田 愛梨 / 山村 李緒

牧之原市は、豊かな茶園「牧之原台地」、観光客で賑わう「静波海岸」などを観光名所とし、ゆとりや自然とのふれあいを求めて訪ねる多くの人々に親しまれています。又、富士山静岡空港の立地市でもあり、観光や物流に大きな期待が寄せられています。私達、はいばら太鼓保存会は、そんな牧之原市(旧榛原町)の郷土芸能として昭和51年6月に結成され、和太鼓を通じた地域振興のための活動を続け、今年で42年目を迎えました。

本日演奏する「龍門」は、中国の故事になぞらえ、若いジュニア達が切磋琢磨しながら滝を登りやがて立派な龍になる。そんな情景を思い描き編曲しています。全身を使って表現できるよう励みました。そんな姿もお楽しみください。

29

とく てい ひ えい り かつ どう ほう じん てん りん だい こ 特定非営利活動法人 転輪太鼓

愛知県



演奏曲

おりじん

ORIGIN

代表者: 國分光一郎

池田いずみ / 小島 快也

堀川 幸生 / 段 月海

大江 美嶺 / 今井 楽翔

中村 優希 / 浅野 照英

高橋 慶 / 吉村 詩音

原 孝哉

愛知県春日井市に拠点を置き、2歳から68歳までの160名の仲間と共に練習しています。

2018年11月に20周年を迎え今回の全国大会で3回目のチャレンジとなりました。

打乱漢 獅鬪のリーダー 大志郎さんに指導を仰ぎ、和太鼓は人を元気にする！その原点を胸に太鼓仲間との縁に感謝し、今日このステージに立たせていただけることに感謝し愛知県代表として全力で演奏します。

30

わ じま わ だい こ とら の すけ 輪島・和太鼓 虎之介

石川県



演奏曲

のとのくに きり こまつり

能登國切籠祭

代表者: 今井 哲也

川端 彩乃 / 大端 愛美

川端 光月 / 沖崎 陽鞠

大積 紅愛 / 大積 聖愛

吉浦 寧々 / 大端 遼

川端光太郎

私どもは、石川県輪島市に、伝統の祭り太鼓を基本とし、和太鼓の「新しい風を」との思いで、平成12年に結成しました。地元の伝統のお祭りのお囃子から、和太鼓本来の音色を引き出し、打ち込みたいとの思いを込めて作った曲です。私どもなりに、能登らしさを忘れずに今回の曲で、和太鼓が大好きなメンバーが一丸となり、練習の成果を発揮し、上位入賞を目指したいと思ひます。

31

れい たく みず なみ ちゅう がく こう とう がっ こう たい こ ぶ
麗澤瑞浪中学・高等学校太鼓部 岐阜県



演奏曲

ど とう
怒 濤

代表者: 蟹井 克也

大島 海杜 / 水野 陽貴
 橋本 真実 / 永井喜久丸
 大西 琉友 / 山本 雄大
 山本 梨乃 / 磯村 亮太
 加藤 夢乃 / 正村 莉子
 森下 知範 / 小林龍之介
 篠田 汐和 / 奥村 萌

本校太鼓部は平成11年4月に創部されました。学校行事や地域の行事、小学校や福祉施設での演奏など年に約15回の演奏活動を行っています。これまで全国高等学校総合文化祭、神恩感謝日本太鼓祭など全国規模の演奏会にも出場させていただいています。昨年12月には日本とキューバの交流事業の一環で、キューバに渡航して演奏させていただきました。

私たちの演奏する曲はほとんどがオリジナルの創作曲です。日本太鼓ジュニアコンクールは初出場ですが、活動を支えていただいていることへの感謝の気持ちを大切に、自分たちの持ち味を発揮できるように、精一杯演奏させていただきます。

32

しん しゅう たつ の だい こ ゆう
信州辰野太鼓 チームYou 長野県



演奏曲

いく さ らい じん
戦～雷神～

代表者: 宮澤 正樹

田辺 凌太 / 平出 雅
 中谷 悠哉 / 林 優良
 藤森 心羽 / 木本 翔矢
 中谷 玲也 / 林 雛乃

信州辰野太鼓は長野県のほぼ中心、さらに日本のど真ん中に認定された自然豊かな辰野町を拠点に、信州辰野太鼓のジュニアチームとして活動しております。

和太鼓ではあまり馴染みのない横文字のチーム名ですが、『You』は『友』を表し和太鼓を通じて仲間を思いやる心や、目標に向かい仲間と共に頑張る事を願い指導して頂いている宮澤先生に名付けて頂きました。6回目の挑戦で夢を掴み、全国大会という最高の舞台上で演奏出来る喜びと世界から集まった太鼓仲間と共に過ごせる時間に感謝の想いを胸にチームYouらしい演奏が出来るように皆で心を1つに太鼓に向かいます。自由曲の『戦～雷神～』は戦国時代の戦をイメージし、勇猛果敢に戦いに挑む姿と古事記に記された伝説の神、雷神のように激しく太鼓を打ち込み、雷のように太鼓を轟かせることを表現しています。

33 わ だい こ 和太鼓たぎり

福岡県



演奏曲

ま す ら お
眞主羅生

代表者: 植田 美紀

松田 伊織 / 倉智 聖梨
松田 梨花 / 長副祭之路
廣木 聖大 / 仲島 海斗
長副 萌 / 黒土 陸斗
熊谷 和花 / 中山 愛咲
中山 恋咲 / 河端 悠莉
岩崎 愛也 / 岩崎 聖羅
白本 鈴乃

和太鼓たぎりは、泉湧く^{たぎり}泌泉の里、福岡県糸田町に伝統文化の傳承及び普及、地域の活性化を願い結成いたしました。糸田町には名前の由来となる『泌泉の坪』があり、歴史的にも豊日別命や神功皇后などにまつわる伝説が今も数多く残っています。“和太鼓たぎり”とは、この泌泉の坪から脈々と湧き出る清らかで且つ勢いに満ち溢れる水源のようにありたいと願い命名いたしました。驕ることなく日々精進し泥臭く我武者羅にたぎりらしくこの思いが伝わりますよう演奏いたします。

34 めいとく ぎ じゅくちゅうがく こうとうがっこう わ だい こ ぶ たい こ しゅう み こ 明德義塾中学・高等学校和太鼓部 太鼓衆魅鼓 高知県



演奏曲

む つかさど せいれい だいらい しゅうじん
蘇を司りし精霊 第2章 人陣

代表者: 松井 正

大石 毬天 / 田村 陽花
小椋 樹 / 中村 舞
LEELAPONGANAN CHAYUTPONG
濱本 青那 / 寄本 隼平
中山 結稀 / エイドリアーノ 倫香
濱田 典成 / 山崎 大陽

私たち明德義塾中学・高等学校和太鼓部は、創部13年目を迎えました。部は、日本人を始め、留学生、国際家庭の生徒が在籍し、国際色豊かな、また、多文化が共生する環境にあります。そんな中、私たちは日本の伝統芸能である和太鼓を演奏することを通して皆の心を一つにし、信頼関係を深めてきました。校内行事や、地元での依頼演奏を中心に、年間約70回の演奏活動をしており、過去には、オーストラリア、インドネシア、タイ、韓国での海外演奏も経験しています。また、本校は海外との姉妹校が多く、海外から本校を訪問されたお客様に、日本の伝統芸能である和太鼓の響きや和の文化の素晴らしさを伝える交流会などにも積極的に行っております。

35 かけ や だい こ 掛合太鼓ジュニア

島根県



演奏曲

る てん
流 転

代表者: 松下 周二
 岡田 昌樹 / 織田 侑希
 加藤 大良 / 佐藤 萌江
 中村明日華 / 中村 結
 福島の花 / 名原 万絢
 福場 彩加 / 藤原 爽穂
 石飛 結衣 / 大田 純平
 松村 航希 / 森山百合香
 永瀬 陽菜

私たち掛合太鼓ジュニアは、28名で活動しています。私たちが育った雲南市掛合町は、自然が豊かな町で幼い頃から太鼓が常に身近なもので、今ではこの町のほとんどの卒業生が太鼓の演奏ができます。私たちもその中で中学生になった今は、太鼓が打てることのありがたさを感じながら練習しています。

今回演奏する「流転」では、四季折々の色どりがある「八重滝」の千姿万態の様子や、落差40メートルある中国地方でも名瀑といわれる「龍頭が滝」の勇ましい様に加えて、季節の移り変わりを水が流れ転じる様子を表現している曲です。

私たちは、掛合太鼓の代名詞の一つ“フサバチ”を用いて華やかに会場の皆さまを魅了したいと思います。そして、今まで教えてくださった方々や、地域の方々へ感謝の気持ちを伝えられるように一生懸命演奏したいと思います。

36 ひ かみ おと め だい こ そう 火の神乙女太鼓 爽

鹿児島県



演奏曲

ハネウマ

代表者: 平田 寿一
 武内 美空 / 竹内 楓
 折田 好 / 萩原 花吏
 萩原 李羽 / 桑原 瑛太
 平田 瑠菜

「基本を大切に」「しっかりと太鼓を打ち込む」「正直に、真っすぐに」

歴代の先輩たちにはまだまだ追いつけないけど、乙女魂をしっかりと受継いでいい演奏をします。一つひとつの音が集まってリズムになり、そのリズムが集まって曲になっています。一つひとつの音を大切に、気持ちを込めて、跳ねる馬のごとく元気よく、今日もベストを尽くします。

37

かぐら おか たい こ こりゅう 神楽岡太鼓 子龍

北海道道北



演奏曲

おか やっこ

岡奴ばやし

代表者: 坂本 信一

塚原 圭哉 / 塚原 若菜
 會田 航大 / 會田 築玖
 會田 楽理 / 菅原 琉偉
 恵本 駿吏 / 塩田 菜々美

神楽岡太鼓保存会は平成2年に旗揚げされました。神楽岡地域の郷土芸能として、和太鼓を通じて地域発展と活性化を目的に活動しており、まもなく結成30年を迎えます。地域密着型の取り組みと人々の出会いに恵まれ、旭川市文化奨励賞を受賞しました。神楽岡太鼓 子龍は、当保存会の小学生から高校生で構成されており、市内を中心に多くのイベントで演奏をさせていただいております。日頃から演奏の様子などを積極的に発信しており、和太鼓の伝承と普及に努めています。今後も市民に愛され親しまれるよう努力して参ります。また、青少年の健全育成と人間形成のために精進しつつ、地域の発展と文化継承のために活動を続けていく所存です。

38

むろ らん わ だい こ かい 室蘭和太鼓會

北海道道南



演奏曲

やま びこ つー

山彦II

代表者: 櫛引 秀明

佐々木幸助 / 横尾 俊介
 森元 紫乃 / 棚橋 美奈
 横尾 美月 / 横尾 小鈴
 澤野 夢音 / 末野 芽生
 岩間 由紀 / 小森 匠真
 遠藤 煌弥 / 遠藤 絢芽

室蘭和太鼓會は95年、札幌に本拠地を置く「橋本流地獄太鼓室蘭支部」として発足、その後独立し、現在の名称で室蘭を中心に道内各地で演奏活動を続けています。

活動方針は三つの想い「まちづくり」「人づくり」「受けつたえ」。地域の行事や活動に積極的に参加をして演奏活動を行う「まちづくり」、チームワークの大切さと礼と節を学び青少年の健全育成を願う「人づくり」、そして多くの人たちに、日本太鼓の伝統とすばらしさを広めるための「受けつたえ」、この三つの想いで活動を続けています。

39

あお やま こう とう がっ こう わ だい こ ぶ あおい 青山高等学校 和太鼓部 葵

三重県



演奏曲

つわもの
兵

代表者: 今村 薫
市原 叶悟 / 加藤 瑠唯
栗林 駿 / 岡 正博
河合 優太 / 西澤 勲
橋本 猛喜 / 井土宗一郎
宇治山 詩織 / 大西 諒
島川 将輝 / 服部 沙紀
市川 拓海 / 飯嶋 陸将

青山高等学校は、三重県津市の青山高原の中腹に位置し豊かな青山高原の木々に囲まれた全寮制の私立高校です。「汝の全力を出し真の汝を発掘せよ」を学是とし、今年創立37年を迎えました。和太鼓部 葵はサークル活動として発足し、平成21年度に部活として設立し、今年で創部10年を迎えることができました。普段は地域のお祭り・演奏会など地域に根差した活動をしています。毎日練習に励み『自分達にしかできない太鼓』ができるよう一人ひとり努力を重ねています。私たちの演奏を聴いてもらう中で太鼓が好きだ!という気持ちが伝わると幸いです。まだまだ未熟な私たちですが、あらん限りの思いを込めて全力で演奏します。よろしくお願いたします。

40

まつ かわ かず みや たい こ ぐみ 松川一の宮太鼓 はな組

岩手県



演奏曲

てん りゅう
天 龍

代表者: 遠藤 一子
三浦 陸 / 遠藤のりか
澤尻 月護 / 伊藤 亜紀
伊藤 綾海 / 上山 航平
上山 漣司 / 田村 京珠
佐々木 夢歩 / 本堂 音華
山田 姫桜来 / 上山 瑠太
遠藤 ゆめか / 遠藤 ほのか
澤尻 眞由佳

東北太鼓ジュニアコンクールの代表として、今年で3回目となる日本太鼓ジュニアコンクールに出場できるようになりました。チームの構成メンバーは毎年代わっていますが、沢山の困難を乗り越え、この大会を目指して稽古に励んできました。故郷八幡平市の曲「天龍」を演奏します。私たちの八幡平市は、岩手山につらなる八幡平国立公園に囲まれており、その山々は、とても美しく朝に夕にその優美な姿で私たちが癒やしてくれております。その八幡平に昔、龍が住んでおり日照りに苦しむ村人を救うために、八幡平に多くある沼を決壊し水を押し流してくれたという言い伝えがあります。その様子を太鼓で表現してみました。

今日は、八幡平市を受け継ぐ子ども達が皆様の心に響くよう精一杯演奏します。どうぞ、お聴きください。

41

た じ ま だ い こ た つ み かい び や ッ こ 田島太鼓 龍巳会「白鼓」

福島県



演奏曲

ざんざ

代表者：渡部久留美

渡部 龍大／渡部 晃大
星 和／阿久津怜音
佐藤 駿／大竹 春歌
稲川 桃佳／湯田 隼平
小泉龍一郎／弓田 望翔
大竹 楓歌／阿久津桜花

田島太鼓 龍巳会は、福島県南会津町で2007年に結成しました。地元の伝承を元にした創作曲を演奏し、地域活性・風評払拭を目標に全国各地、海外でも南会津の音を響かせています。

地元、天領の里・会津田島は、冬はしんと降り積もる雪に覆われ、山中は神々が降りてきそうなほど澄み渡り、日本の原風景が残る美しい町です。

演奏する曲「ざんざ」は、地元に残る伝承を元に作り上げた、神々の物語。ざんざ、ざんざと雪が降る凍てついた世界から、花が芽吹き舞う春へと移り変わる田島の四季を表現しています。凍てつく冬の厳しさが、花の芽吹きを一層美しいものへ変える様子を、太鼓の響きから思い描いて頂けたら嬉しいです。よろしくお祈りします。

42

て どり こうりゅう わか あゆ ぐみ 手取亢龍若鮎組

石川県



演奏曲

て どり むし おく 手取の虫送り

代表者：田中 秀夫

佐野 遥実／原田 恵実
山先 柚芽／新田くるみ
吉野 宏孝／奥川 優鈴
奥川 優杏／山本 脩矢
田口 昊汰／五宝香々奈
狭間 則志／山先 はな
狭間 隆正

手取亢龍若鮎組は、小中学校の生徒を対象とした川北町青少年講座「太鼓教室」の受講生と、手取亢龍太鼓保存会員の子ども達で、保育園児から高校生まで幅広いメンバーで平成10年に結成しました。古来より、地域に残る「虫送り太鼓」のリズムを基本として創作、川北町の自然や文化を表現しています。

現在は、保育園児から高校2年生までの13名の会員で活動しています。地元川北まつりを始め、各種イベントに多数出演、ろう学校の皆さんとの交流を始め、介護施設への慰問などボランティア活動などにも積極的に参加しています。日本太鼓ジュニアコンクールでは、3度の優勝を頂きましたが、今年の大会では心新たに4度目の優勝を目指し頑張ります！

43 やまばと太鼓

たい こ

秋田県



演奏曲

ふるさとまつり

代表者: 大友 剛

大山 桃花 / 小浜 優樹
 山下 亜実 / 下坂 陽向
 川村 美優 / 下坂 陽菜
 大山 美咲 / 下坂 陽南
 梶山 銀雅 / 小峰 庵
 川村 優亜 / 大友 心響

「心のふるさと やまばと太鼓 それは幼い日の思い出」

「太鼓の音それはお母さんのお腹の中で聴いた懐かしい音」

秋田市にあります「やまばと保育園」の卒園児とその地域子ども達、大人で活動している太鼓団体です。「ふるさとを大切にしてほしい、自分が生まれ育った地を忘れないで欲しい」そんな思いから昭和61年、子ども達の健全育成の願いを込めて始めました。子どもには限りない能力と可能性を感じます。この子達が太鼓を通し、太鼓の技術だけでなく挨拶や思いやりの心など、人として大切なことも身につけ、健やかな成長へと繋がることも願っております。

44 神洲八幡巫太鼓

しん しゅう や はた かなぎ だい こ

福岡県



演奏曲

げん かい なみ がえ

玄海波返し

代表者: 小路 美保

北岡 令央 / 船津 汐里
 富田 佳麟 / 辻本さくら
 中嶋 夏七 / 権藤 彩菜
 南 穂乃花 / 鳥羽 葉月
 作田 七葉 / 山口 陵牙
 木村 南菜 / 上野 亜瑚
 清水 奈那

神洲八幡巫太鼓は、昭和64年に発足した神洲太鼓の子供チームとして、普段は大人と一緒に演奏活動をしています。そして、神洲太鼓に発足当初から伝わる、石川県加賀太鼓打法「胴打ち」や「ふち打ち」「返し打ち」を通して、変わらない素晴らしさとこれからの時代を担う私たちに必要な心身の強さ、粘り強い精神力を身につける大切さを学んでいます。

神洲太鼓では、所属する児童数が170名近くいることもあり、週に1~2度しか全員で練習する機会が持てませんが、その分集中して、皆で創意工夫して練習を重ねてまいりました。

「玄海波返し」は、それらの打法を生かして、私たちが住む福岡県北九州市に面した玄界灘の力強く逞しい荒波の様子をイメージして作られた曲で、四季折々に移り変わる海の表情を和太鼓で表現しています。

本日は皆で考えた「子供の私たちにしかできない身体の使い方」「呼吸の合わせ方」をもとに精いっぱい打ち込みますので、どうぞよろしくお願いたします。

45

たい こ けん しゅう ひびき 太鼓研修センター「響」

宮崎県



演奏曲

かぐら ひびき あまのいわ とびらき
神楽の響 天岩戸開

代表者: 今村 秀樹

左近 百絵 / 杉尾 悠介
赤木 奏太 / 山中 裕稀
丸野 華月 / 杉尾 里菜
長友 芽依 / 大村 朋希
杉尾 蒼也 / 高妻 心音
長谷川寛人

私たち太鼓研修センター「響」は、宮崎県宮崎市の太鼓研修センターで和太鼓を通して礼儀作法を学び、太鼓の練習を受けさせてくれる両親に常に感謝し、毎日太鼓の練習に励んでいます。

今回演奏致します「神楽の響 天岩戸開」は、天岩戸の中に隠れた、天照大御神を誘い出すために、神々たちがお祭り騒ぎを始め、それを何事かと岩戸を少し開けて見ようとした天照大御神を、神々が外に導き世の中に光が戻った神話を表現し、神話の国・宮崎の音を会場に響き渡らせるべく、力強く太鼓を打ち鳴らします。

46

ぬっ たり しょう がっ こう ばん だい だい こ こ すけ 沼垂小学校 万代太鼓 鼓助

新潟県



演奏曲

にい がた じん く ともえ う
新潟甚句巴打ち

代表者: 高橋十糸子

阿部 好花 / 高橋 明里
田中 心 / 渡辺 滯羅
水科 菜々美 / 本間 友
小田 心菜 / 丸田 真緒
佐藤 碧 / 矢ヶ崎 優歩
菊池 優希 / 南 統子
堀 光蘭 / 森平 芽吹
田中 珠

新潟の郷土芸能として受け継がれてきた万代太鼓は、2018年に創設50周年を迎えました。

私たち鼓助も、1973年に沼垂小学校の部活動としてスタートして以来、地域クラブへの移行を経て45年が経ちました。

昨年度、金沢市で開催されたジュニアコンクールでは、新潟県初の代表として出場させていただきました。レベルの高い演奏を肌で感じ、子どもたちにとって素晴らしい経験と大きな励みになりました。現在、1～6年生の男女28名で活動していますが、今日はその中から4～6年生の女の子15名が力強く演奏します。樽の軽快なリズムと郷土色豊かな太鼓の響きで新潟らしさを表現できるよう精一杯演奏します。

47

やまと だい こ ほ ぞん かい こ てん どう じ
大和太鼓保存会 鼓天童子

佐賀県



演奏曲

たから がわ
宝川

代表者: 野方 嘉孝

多田 聖矢 / 南里 紗希
 南里 拓海 / 菊池 輝
 南里 舞 / 上瀧ありさ
 馬渡 沙希 / 立石 みあ

平成元年大和町街おこし事業の一環として結成された大和太鼓保存会の子供の部としての活動団体です。地域のまつりごと、伝承芸能を後世へと引き継ぐことを目的とし、健全な精神、健康な身体を持ち郷土芸能に取り組んでいます。「太鼓を打つ」は「胸を打つ」をスローガンに、日々精進を重ねております。応援の程、宜しくお願いします。

48

とうきょう とりつ み はら こう とう がっ こう わ だい こ ぶ わ しんきょう か
東京都立美原高等学校和太鼓部「和心響華」

東京都



演奏曲

きらめき
燦

代表者: 山本 剛

青木 希美 / 越後 綺音
 椎 美紗貴 / 須藤 悠伸
 須山 莉子 / 平 瑞穂
 田中 穂 / 豊田 優衣
 中川 茉依 / 福原 由菜
 皆川夕姫乃 / 吉澤 浩輝

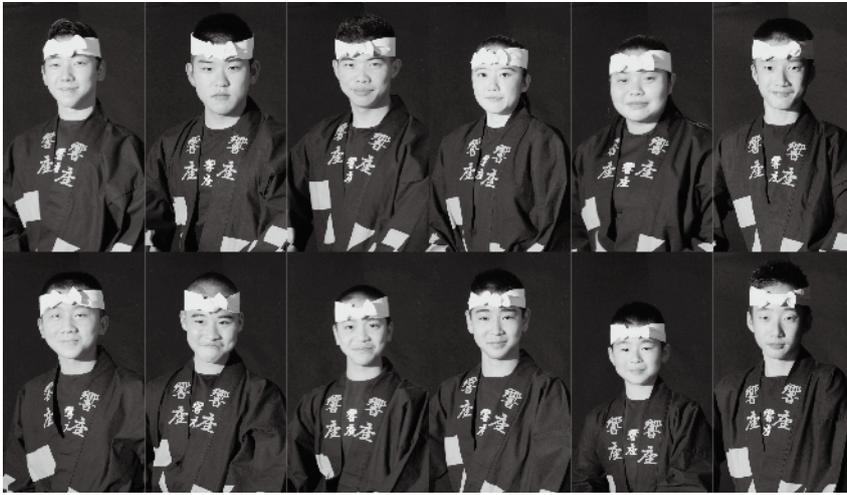
私達、東京都立美原高等学校和太鼓部「和心響華」は東京都の大田区にあり、今年で14年目を迎えました。近隣には「大森ふるさと浜辺公園」や「平和の森公園」があり、たくさんの自然に囲まれた学校です。現在は2年生12名、1年生13名の計25名で「和の心をもって華のような音を響かせる」ことをモットーとし、日々練習に励んでいます。週末は地域の保育園や小学校、老人ホームや記念行事、交通安全キャンペーンなどでボランティア演奏を行っています。

本日演奏する「燦」は一人一人が輝くことをテーマとした曲です。大太鼓から始まる独特の雰囲気、長胴太鼓の息の合った振り、締太鼓が曲全体のリズムを刻みます。美原高校和太鼓部の活気あふれる演奏をどうぞお楽しみください。

49

たちばな だい こ ひびき ざ 橋太鼓「響座」ジュニア

宮崎県



演奏曲

おかげ、おかげ、おかげ様祭りままつ

代表者: 岩切 邦光

山本まどか / 黒木 美羽

三浦 悠彩 / 森田 翔真

坂本 悠真 / 櫻井 雅貴

竹ノ内愉生斗 / 久米田晃法

後藤 瞭来 / 坂本 琢真

後藤 謙志 / 本多 澄海

毎年7月8日・9日に宮崎県都城市の神柱神社あぐつどうの六月灯に合わせて催される、おかげ祭り。ターンタタンターン「あーどっこい」の掛け声のもとに祭りの主役であるお囃子や神輿が街を練り歩き、地域住民・観客に元気と笑顔を与える祭り。

その本舞台で25年間演奏をしてきた橋太鼓「響座」を表現致します。

和太鼓を聴く人に、おかげ祭りで学んだ、笑顔と元気を与えるという事をモットーに全力で太鼓を打ち込みます。

50

ふくい けん りつ ふくい のうりん こうとう がっ こうきょう ど げいの う ぶ たいち 福井県立福井農林高等学校郷土芸能部 Taichi 福井県



演奏曲

ファイト

代表者: 矢尾 毅一

八日市谷朋陸 / 紙本 大夢

米川峻希斗 / 坂井 竜也

楠 未夢 / 嶋田 怜夏

新 彩花 / 林 美夕

伊藤桐希子 / 小澤 倫果

西本 杏紫 / 村中 雅弥

海崎梨里子 / 笠川 光

高久 茱白

創部17年となる福井農林高等学校郷土芸能部たいちは「地域に笑顔の花を」をスローガンに、年間30回程度の公演を行っています。今回演奏する「ファイト」は、日本に再三降りかかる自然災害と闘う人々の努力に対し「ファイト」、そして2020年東京オリンピックなどのスポーツの世界で戦う人々へ「ファイト」とエールを送ろうと作られました。私たち「TAICHI応援団」は頑張る全てのみなさんに勇気と笑顔の花をお届けします。福井大震災復興のシンボルである不死鳥をイメージしたパフォーマンスにもご注目ください。

51

はし もとりゅうじ ごく だい こ わ だい こ かい 橋本流地獄太鼓和太鼓會

北海道道央



演奏曲

こま あす む
駒～明日に向かって

代表者：橋本 光司

伊豫部慶音／鍋島 響希

鍋島凜々花／桑原イェン・瑠葉

行澤 桃子

1965年、温泉町登別市で橋本光司氏により創設された北海道の創作太鼓の草分け的「登別地獄太鼓」を原点とし、1990年和太鼓の普及振興を目指し、札幌市南区を拠点に橋本流地獄太鼓和太鼓會と称し、現在に至っています。老若男女、幅広い会員層を特徴としていますが、ジュニアメンバーが数少なく、今年念願叶い初めてジュニアコンクールに挑戦させていただけることになりました。

北海道日高の草原で、のどかに草を喰む若駒達。その時、突然の雷鳴が！驚いて暴走するサラブレッドの群れが、目の前を駆け抜け、遠ざかり、また近づいては遠ざかって行く様子を太鼓で表現します。

若駒のようにはつらつと、ひとりひとりが練習の成果を発揮し、一丸となって打ち込みます。

52

か い わ だい こ しゅう しん げん だい こ ひりゅう 甲斐和太鼓衆 信玄太鼓 飛竜

山梨県



演奏曲

か ぐ ら
奏鬨楽

代表者：中込 雅仁

望月 翔太／薩摩 春那

川崎 晴琉／片山こころ

薩摩 史哉／坂本姫奈子

甲斐の国主である武田信玄の命を受け19年の歳月をかけ完成させた堤防信玄堤は、450年以上後の現在もその姿を残しています。その偉大なる信玄公とそれに携わった人々を称え、明るく思いやりのある町作りをしていこうと昭和56年に創作和太鼓信玄太鼓保存会を発足。信玄公の旗印、風林火山をテーマとして活動しています。この曲は武田氏の時代から続く「御幸祭」を表現した曲です。三社神社は、一宮浅間神社、二宮美和神社、三宮玉緒神社から合祀された神社で、「甲斐の国の神々よ、どうか水害からお守りください」と、年に一度民によって一宮、二宮、三宮の神社から神輿を三社神社まで担ぎ、信玄堤で神事を行いました。三社神社の神々と民がともに楽しいひと時を過ごし、神遊びのにぎやかさを和太鼓で表現できればと思います。

53

たいこ れん だいこ おおむら太鼓連くじら太鼓

長崎県



演奏曲

なつ かせ 夏越の風

代表者: 田中 俊己

井川 陽緑 / 吉田 小夏
中野 芽唯 / 浦野 杏奈
浦野 世奈 / 田中 藍李
山口 愛寿菜 / 山口 慶太
宮崎 陽菜 / 川本 誠也
高増 暖人 / 玉城 優心
玉城 綾姫 / 宮田 心美

大村市は、1000年の歴史を持つ城下町であり、城主が日本初のキリシタン大名であり、ローマ法王のもとに四人の天正少年使節を送り謁見した事は歴史的にも良く知られています。

その時代とほぼ同じ頃、大村では捕鯨が盛んであり、その網元で巨大な財をなした「深沢 義太夫」と言う人物が居りました。彼は、捕鯨で得た財産 3000両をすべて大村藩の為に使い、自らは生涯質素な生活を送り、その一生を終えたそうです。おおむらくじら太鼓は、「深沢 義太夫」の遺徳をたたえと共に、その当時の勇壮な鯨取りの様を太鼓の響に変え、400年の歴史を越え大村市最大のまつり「夏越まつり」の中から誕生しました。

54

は さき だいこ ほ ぞん かい 波崎はやうち太鼓保存会

茨城県



演奏曲

たいこ はやうち太鼓

代表者: 菅野 裕之

三浦 梨央奈 / 三浦 令央奈
冨田 真介 / 大塚 愛羅
石井 若月 / 片岡 鈴
市原 美紗 / 佐生 奈月
岡野 寧々 / 仲島 茜
鈴木 悠亮 / 冨田 真鈴
鶴野 麻太

波崎はやうち太鼓保存会は昭和60年1月に結成され、つくば科学万博での演奏を期に茨城県太鼓連盟に加盟しました。現在は高校生から40代を中心に県内外の各イベントに参加しており、活動拠点の神栖市太田地区では地元青年団主催の納涼盆踊りや270年の歴史がある恵日山長照寺の祭事「御会式」での演奏で地域に密着した活動を行っています。

会の名称にもある、太鼓と笛が早さを競う「はやうち太鼓」をはじめ、太鼓を担ぎ跳ね回る「祭り囃子はねこみ太鼓」や、軽快な太鼓と笛のリズムに合わせ纏と纏を力一杯ぶつけ合う「小桜がえし」などの曲目があり、郷土芸能の保存継承に日夜努力しております。また、地域の子供たちへの太鼓の指導を行い未来の担い手の育成を通し青少年育成、地域貢献を行っています。

55

はし もとりゅう だい こ
橋本流みゆき太鼓

北海道道南



演奏曲

きた そう てん
北の蒼天

代表者：梅花 孝好
 清水 遥香／小林 諒佳
 金澤 信心／小川 結月
 小川真之介／川村 尚矢
 佐藤 妃菜／三好 杏奈

橋本流みゆき太鼓は、札幌を本拠地として演奏活動を行っている橋本流地獄太鼓の室蘭教室として平成14年4月に結成いたしました。

橋本流みゆき太鼓は、平成14年に地元の皆様の応援により、名称は町名からみゆき太鼓と名付け、鉄の町室蘭から誕生したチームです。礼節、感謝、希望をもって、一打一魂、スピード感のあるダイナミックな振りで視覚、聴覚を通し、心に訴える独自の太鼓を目指しています。

室蘭市のイベント等に積極的に参加し、活動を続けています。これからも皆様の心に北海道の力強さが伝わりますように日々精進し、演奏活動させていただきます。

56

やまと くに こ いき
大和の國 鼓粹

奈良県



演奏曲

みさき とう だい
岬の灯台

代表者：福田 貴恵
 東野 妃莉／東野 佑哉
 森川 愛純／君野 祥大
 花田 恵実／多和田真柊
 中山 敬斗／末永 空茜
 松元 凜

大和の國…

「やまとは くにのまほろば たたなづく おあがき やまごもれる やまとしうるはし」(古事記より)

「大和は国々の中でも格別に優れた国だ。幾重にも重なる青々と木々の茂った山々。その山々に囲まれた大和こそは本当に美しい国だ。」(現代語訳)

県内で活動していた仲間と社会福祉活動を目的として、「大和の國 鼓粹」を創設。山城ノ國 和太鼓 鼓粹グループの仲間入りをする。

知的に障害のあるメンバーや難病を克服し、和太鼓に取り組むメンバーと一緒に日々努力を怠らず、より多くの方々に和太鼓の素晴らしさを伝え行くために、地域での演奏活動を行っています。

57

こじまゆがだいこ
児島瑜伽太鼓

岡山県



演奏曲

ひじり きょう
聖の響

代表者: 佐藤 一博

岩城 大介 / 岩崎 靖矢
伊豆丸知英 / 白川望乃佳
田辺 海太 / 亀山 映太
大塚 沙羅

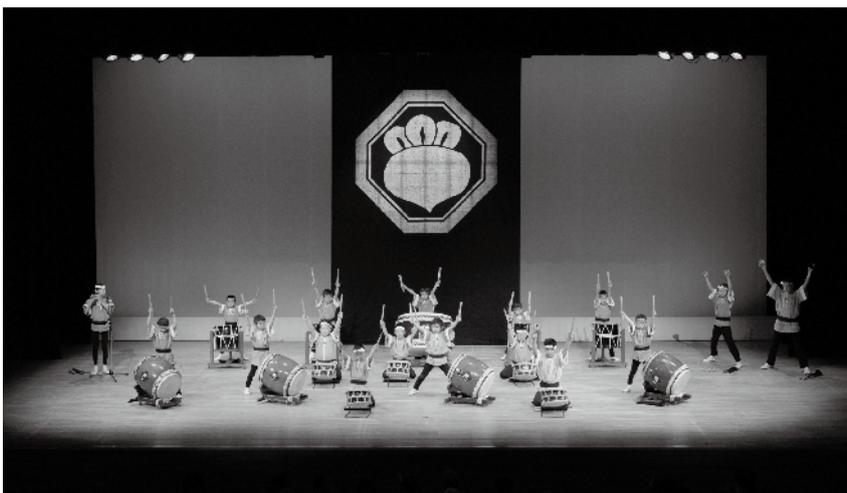
昭和60年由加山の郷土芸能として創作に取り組み、昭和62年に瑜伽太鼓を発足しました。その後、平成元年、児島瑜伽太鼓として地域を広げ、結成以来、県内外を問わず年間40～50数回の公演をかさねています。平成17年、児島瑜伽太鼓ジュニア部を開設、現在大人メンバーと共に活動しています。

第19回日本太鼓ジュニアコンクールに岡山県代表として初めて出場させていただき、特別賞を受賞することができました。この度、3回目出場のチャンスをいただき、小学4、6年生3人を加え出場させていただく事になりました。どうぞよろしくお祈りします。

58

たいこどうじ ひろしま
太鼓童子こかぶ広島

広島県



演奏曲

らっしゅ びーと

Rush Beat

代表者: 土井 裕文

清水 理生 / 今村 虹斗
齋藤 誠人 / 三島 颯人
藤村 要 / 芦田 宏吉
野田 桜果 / 村賀 天祐

太鼓童子こかぶ広島は、太鼓本舗かぶら屋主催の太鼓クラスとして、2002年に結成されました。「かぶら屋例大祭」「けんみん文化祭ひろしま」の出演を目標に「大きな声であいさつをすること」「楽器や道具を大切にすること」「努力する強い心を持つこと」を心得とし、4歳から中学3年生までの17名が、ばちを握り汗を流しています。我が国の伝統楽器の一つである和太鼓を通して、私たちが目指す和太鼓の音には、優しさ、力強さ、響き合う心地よい音があります。今日はそのすべてが出し切れるよう、全身で表現したいと思います。

今日、このような大きな舞台に立たせていただくことにチーム一同、心から感謝しています。広島から福島へ、一打一打太鼓の音に思いを込め、演奏いたします。

59 しらぬ いたい こ 不知火太鼓

佐賀県



演奏曲

かぜ し き
風の四季

代表者: 井手 康晴

松永 琴梨 / 石橋 藍介

森 咲弥香 / 瀬戸 響

測上 珠羅 / 久原 陽莉

山田 悠史 / 樋口 友祈

中島 雄大 / 稲富 翔太

下村 恵利奈 / 久原 陽詩

昭和53年に佐賀県嬉野市塩田町にて、一つの太鼓と若干4名で発足した我々不知火太鼓ですが、お陰様で今年40年目を迎えました。

演奏技術の向上を目指しながら、いろいろな活動をしていく中で、人としての成長を目指します。

60

せい しん だい こ
ドラセーナ清心太鼓

ブラジル



演奏曲

そ せん く ろう
祖先の苦勞

代表者：宮口 レアンドロ けんじ
高木 アレサンドロ かずや
田伏 ジョン パウロ ゆうじ
田伏 カイオ セザル けんぞう
ハポゾ ボロギニア ダヴィ
牧野 アラン かずみ
松本 タイザ ゆかり
松本 ラリッサ さゆり
麻美 川北 イザベラ かおり
松本 ダニエラ なおみ
伊沢 ヴァネッサ りえ
伊沢 ルアナ あゆみ
伊沢 レチシア なおみ
荻野 ポリアナ さゆり

私たちの住むドラセーナはブラジル・サンパウロの西650kmにあり、農業を中心に栄えた人口約47,000人の町です。日系人1,600世帯が暮らしています。

夏(1月から3月)は40度を超す暑さがあり、梅の実ほどの雹が降ることもあります。このような過酷な環境の中で、私たちの先祖移民は日本人が持つ我慢強さで、風土病やマラリアと闘い、ジャングルや荒地を拓き、またコーヒー農園で働き、今日の豊かな実りと幸せな生活の基礎を作りに上げてくれました。

このような先人たちの苦勞を偲び、日本との別れを告げるドラの音、移民船の汽笛、さらにサントス港上陸から夢にまで見た移民地への列車の旅、コーヒー農園での作業の様子、斧でジャングルを拓く様子などを曲の中に折り込みました。

先人たちの足跡をたどり、感謝の気持ちと、一世たちの故郷、日本で太鼓が打てる喜びを込めブラジル代表としての誇りをもって、太鼓を打ちます。



演奏曲

ちょう せん
挑 戦

代表者：陳力愷

陳乃鴻／高辰翰
 呂沛宸／過柏安
 許芷寧／楊于賢
 郭羽婕／高竹君
 曾品謙／陳品儒

柏齡太鼓團は、2006年に陳豫立團長と宋羅蘭女士が共同で設立しました。陳力愷と陳鵬凱が太鼓指導をしております。日本太鼓財団の講習会、全九州太鼓連合のサマースクール、台湾太鼓協会の合同練習に積極的に参加しています。豊の国ゆふいん源流太鼓の長谷川先生の教えをしっかりと守り、団員達には基本練習から厳しく指導しております。

2008年に上海世博テレビに出演、2010年に国際台北花万博に出演、2016、2017年旧正月台湾溪頭妖怪村にて1週間滞在出演などの経験があります。年に2回台湾太鼓協会の公演以外に年1回柏齡太鼓團が指導しているチームの連合発表公演も行っております。

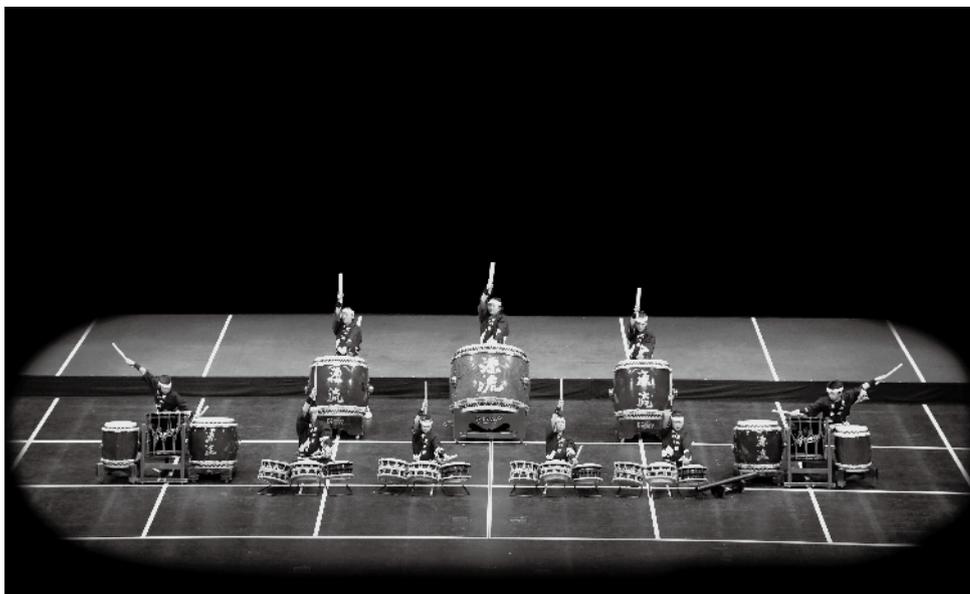
今年のジュニアチームの平均年齢は8歳で、6歳から17歳までの子どもが太鼓の練習に励んでおります。練習は週に3回、1回の練習は3時間以上行います。厳しい目標を達成するために、太鼓の打ち方や姿勢の細かいところまで正確さを追及しています。今回第9回台湾太鼓ジュニアコンクールで、念願の1位に選んでいただきました。

台湾代表、台湾太鼓協会の代表として福島県で行われる第21回日本太鼓ジュニアコンクールに参加できることをとてもうれしく思います。私たちの太鼓の演奏の中の掛け声『全力出撃、永不放棄、太鼓霸氣、登峰造極、無懈可擊、衝破天際、柏齡世紀、共創奇蹟』(全力出撃、不撓不屈、太鼓霸氣、完全無欠、不拔之志、猪突猛進、柏齡世紀、共創奇蹟)のように、いつでも全力で、最後まであきらめずに太鼓を打ち続けたいと思います。

特別出演

さん だい め げん りゅう しょう ねん たい
三代目源流少年隊

大分県



演奏曲

てん ち げん りゅう
天地源流

代表者：城内 三美

長谷川 凌／阿部 結菜

嘉手川 るなせ／迫 芽吹

阿南 晴大／藤田 桜

高森 雄太／本田 真子

高森 唯

三代目源流少年隊は、2015年文化庁伝統文化親子教室事業の「太鼓教室」として発足しました。由布市無形文化財「豊の国ゆふいん源流太鼓」の指導を受けています。「使わない鉄が錆びるように活動しないことは知性を損なう」を心がけ、人として心を磨くことも日々指導していただいています。

少年隊は、「はい」という素直な心、「ありがとうございました」という感謝の心を忘れず、これからも活動していきます。

三代目源流少年隊は、昨年3月25日石川県金沢市で開催された「第20回日本太鼓ジュニアコンクール」（予選参加536団体、5,704名）で、見事優勝に輝きました。

すべての物・事・人に感謝して、本日「天地源流」を打ちます。更なる高見をめざして精進していきます。

開催実績

- **自治大臣杯第1回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団補助事業)**
1999年3月21日(日) サンアリーナ川北(石川県能美郡) 出場団体34団体(29都道府県)
優勝: 共栄太鼓風雅(石川県)
- **自治大臣杯第2回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団補助事業)**
2000年3月19日(日) 松任市総合運動公園文化体育館(石川県松任市) 出場団体34団体(29道府県)
優勝: 天城連峰太鼓(静岡県)
- **総務大臣杯第3回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**
2001年3月25日(日) 岡谷市文化会館カノラホール(長野県岡谷市) 出場団体33団体(29都道府県)
優勝: ゆふいん源流少年隊(大分県)
- **総務大臣杯第4回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**
2002年3月24日(日) 郡山ユラックス熱海(福島県郡山市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第5回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**
2003年3月22日(日) 山梨県立県民文化ホール(山梨県甲府市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)
文部科学大臣奨励賞: ゆふいん源流少年隊(大分県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第6回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**
2004年3月21日(日) 羽島市文化センター(岐阜県羽島市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎県)
文部科学大臣奨励賞: 天城連峰太鼓(静岡県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第7回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**
2005年3月20日(日) 神奈川県立県民ホール(神奈川県横浜市) 出場団体40団体(33都道府県)
優勝: 手取亢龍若鮎組(石川県)
文部科学大臣奨励賞: おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣賞 第8回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**
2006年3月19日(日) まつもと市民芸術館(長野県松本市) 出場団体41団体(34都道府県)
優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
文部科学大臣賞: ゆふいん源流少年隊(大分県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣賞 第9回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**
2007年3月25日(日) 京都会館第一ホール(京都府京都市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)
文部科学大臣賞: 岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組(福島県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣賞 第10回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**
2008年3月23日(日) 松任総合運動公園体育館(石川県白山市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: 橋太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)
文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
- **第11回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**
2009年3月22日(日) アクトシティ浜松(静岡県浜松市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: 太鼓研修センター「響」(宮崎県)
準優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)
文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第12回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2010年3月21日(日) 大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市) 出場団体47団体(35都道府県)

優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

準優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

文部科学大臣賞: 山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島県)

■ **第13回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2011年8月13日(土) 名古屋国際会議場(愛知県名古屋市) 出場団体45団体(34都道府県)

優勝: ZENKAI太鼓「和」(大分県)

準優勝: 手取宥龍若鮎組(石川県)

文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第14回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2012年3月25日(日) ベイシア文化ホール(群馬県前橋市) 出場団体46団体(33都道府県)

優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

準優勝: 源流はさま太鼓(大分県)

文部科学大臣賞: 熊本市立必由館高等学校 和太鼓部(熊本県)

■ **第15回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2013年3月24日(日) 金沢歌劇座(石川県金沢市) 出場団体49団体(35都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 手取宥龍若鮎組(石川県)

準優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)

文部科学大臣賞: 葫蘆墩 Smile 太鼓團(台湾)

■ **第16回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2014年3月23日(日) 郡山市民文化センター(福島県郡山市) 出場団体53団体(38都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組(福島県)

準優勝: 天祥太鼓團(台湾)

文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第17回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2015年3月22日(日) ホクト文化ホール(長野県長野市) 出場団体54団体(36都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

準優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)

文部科学大臣賞: 葫蘆墩 Smile 太鼓團(台湾)

■ **第18回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2016年3月20日(日) iichiko総合文化センターグランシアタ(大分県大分市) 出場団体51団体(38都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 手取宥龍若鮎組(石川県)

準優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

文部科学大臣賞: コロニアピニャール飛翔太鼓(ブラジル)

■ **第19回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2017年3月19日(日) 神戸国際会館こくさいホール(兵庫県神戸市) 出場団体56団体(37都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 和太鼓たぎり(福岡県)

準優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

文部科学大臣賞: 橘太鼓響座「一」(宮崎県)

■ **第20回日本太鼓ジュニアコンクール(日本財団助成事業)**

2018年3月25日(日) 金沢歌劇座(石川県金沢市) 出場団体60団体(40都道府県・ブラジル・台湾)

優勝: 三代目源流少年隊(大分県)

準優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

文部科学大臣賞: 太鼓研修センター「響」(宮崎県)

公益財団法人 日本太鼓財団 概要

<設立日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年 4月 1日

<資 産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 45支部(41都道府県)

<加盟団体数> 約700団体

<会員総数> 約19,000人

<役 員>

会 長	松本 英昭	(一社)地方公務員共済組合協議会会長
副会長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長
副会長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
理事長	塩見 和子	常勤
常務理事	大澤 和彦	常勤
理 事	石井 幹子	(株)石井幹子デザイン事務所代表取締役
理 事	大宅 映子	評論家
理 事	島津 久永	(公財)山階鳥類研究所顧問
理 事	中西 由郎	元(公財)日本ゲートボール連合専務理事
理 事	山内 剛	(福)富岳会理事長

<評 議 員>

評議員	大竹 英雄	(公財)日本棋院顧問(名誉碁聖)
評議員	岡田 知之	(公社)日本吹奏楽指導者協会会長
評議員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評議員	北村 汎	元駐英大使
評議員	佐藤 淳子	(一財)ライフ・プランニング・センター理事
評議員	高島 肇久	(株)海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長
評議員	濱田麻記子	(株)林原チャンネル代表取締役社長
評議員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部支部長
評議員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
評議員	渡辺 貞夫	音楽家

<監 事>

監 事	長内 健	弁護士 長内法律事務所
監 事	竹村 葉子	弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(敬称略)

2019年度の主な事業活動予定

■ 第23回日本太鼓チャリティコンサート

期 日：2019年5月24日(金)
場 所：草月ホール(東京都港区)
共 催：未定
出演団体：6団体程度

■ 第4回大学太鼓フェスティバル

期 日：2019年8月29日(木)
場 所：文京シビックホール(東京都文京区)
共 催：大学太鼓フェスティバル実行委員会
出演団体：15団体程度

■ 第21回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2019年10月6日(日)
場 所：倉敷市玉島文化センター(岡山県倉敷市)
共 催：社会福祉法人富岳会
主 管：日本太鼓財団岡山県支部
出場団体：30団体程度

■ 第34回国民文化祭・にいがた2019「太鼓の祭典」

期 日：2019年10月13日(日)
場 所：上越文化会館(新潟県上越市)
主 催：文化庁、厚生労働省、新潟県、第34回国民文化祭、第19回全国障害者・芸術文化祭新潟県実行委員会、上越市、第34回国民文化祭、第19回全国障害者・芸術文化祭上越市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団新潟県支部
出演団体：30団体程度

■ 第3回浅草太鼓祭

期 日：2019年11月3日(日・祝)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：20団体程度

■ 第16回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2019年11月17日(日)
場 所：輪島市文化会館(石川県輪島市)
主 催：公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

■ 第22回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2020年3月22日(日)
場 所：名古屋国際会議場センチュリーホール(愛知県名古屋市)
主 管：中日本太鼓連合、日本太鼓財団愛知県支部
出場団体：60団体程度

■ 日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会&資格認定事業) 日本太鼓全国講習会

第65回日本太鼓全国講習会 2019年6月29日(土)・30日(日) 岩手県八幡平市
第66回日本太鼓全国講習会 2019年9月21日(土)・22日(日) 岐阜県高山市
第67回日本太鼓全国講習会 2020年2月15日(土)・16日(日) 佐賀県佐賀市

魁なまがけの誇りほこり

オリジナル座金および鉞 意匠登録第1242921号

意匠登録第1242921号。浅野太鼓の顔ともいえる太鼓座金と上鉞のデザインについて、特許庁の意匠原簿に登録された番号。今では多くの太鼓メーカーが類似したデザインを用いていますが、かつては実用一辺倒で菱形の鉄板に細い鉄輪を取り付けただけの貧相な座金を、現在のように装飾性豊かで、しかも格調高いオリジナルデザインとした魁は、浅野太鼓なのです。

昭和40年代、石川県松任市（現在の白山市）在住の刀匠で人間国宝の隅谷正峯氏（1921-1998）のアドバイスを受け、刀の鑿の意匠にヒントを得て考案した独特のデザイン。吉祥文様の一つで「いかなる困難も克服し、未来永劫にわたって栄える」との意味を持つ唐草模様と、「高貴」を花言葉とする十二弁の菊花との組み合わせは、日本の伝統楽器を代表する和太鼓のエンブレムとして、もっともふさわしいデザインと浅野太鼓は考えています。

浅野太鼓楽器店はそのほか、これまで4度にわたって太鼓メーカーとして唯一「グッドデザイン賞」（公財）日本デザイン振興会）を受賞したのをはじめ、時代の求めに即応した新しい機能をもつ太鼓の開発や、完全オーダーメイドの太鼓製作など、つねに積極的に未来を見据えた太鼓づくりを行っています。すなわち「意匠登録第1242921号」は、浅野太鼓楽器店の技術力と開発力、そしてブランド力を証明する誇りの番号でもあるのです。

太鼓の里  浅野

創業慶長14年(1609)

株式会社浅野太鼓楽器店

石川県白山市福留町587-1 〒924-0051 TEL 076-277-1717 FAX 076-277-2228
URL <http://www.asano.jp> E-mail taiko@asano.jp



響音

和太鼓スクール ヒビカス
HIBIKUS

加島
KADON

和楽
奏伝

この国の佳き伝統とともに

宮本卯之助

株式会社 宮本卯之助商店

創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売

〒111-0035 東京都台東区西浅草 2-1-1

TEL 03-3844-2141 FAX 03-3842-6730

www.miyamoto-unosuke.co.jp

どんとなる太鼓のひびきは心と心 世界を結ぶ愛言葉
丸い太鼓で平和で豊かな街づくり
打てばどんと響く清新闊達な人づくり

おん神楽
おん東水
御諏訪太鼓
山口文八

日本太鼓財団公認
御諏訪太鼓保存会

各種和太鼓製造販売修理
及び祭り用品

(有)諏訪響太鼓店

長野県葬祭専門士認証店

(有)岡谷造花

ふるさとづくり、街づくり、
国際文化交流のメッセンジャー

御諏訪太鼓道場

世界の貴重な太鼓・打楽器・民族衣装の数々を展示

世界の太鼓博物館

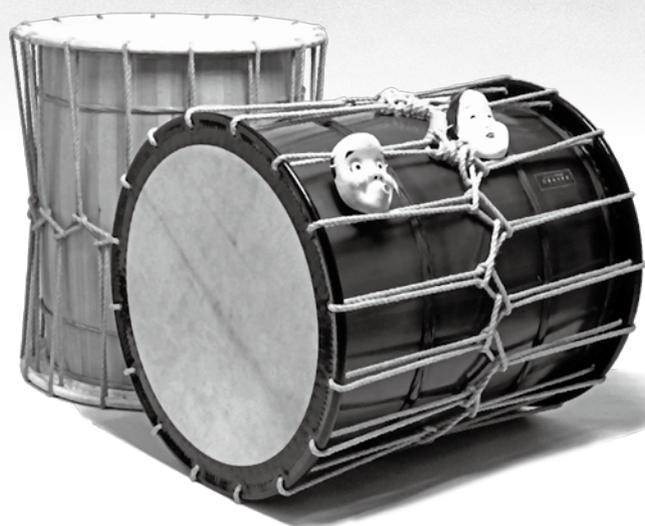
〒394-0004 長野県岡谷市神明町2-5-16(御諏訪太鼓会館)

Tel:(0266)23-6146(代) Fax:(0266)23-8832 E-mail:suwahibiki@almond.ocn.ne.jp

<http://osuwadaiko.com/>

有限会社 鈴木太鼓店

各補助金制度あります。詳しくはお問合せください。



- ① 太鼓の製造・販売・修理
- ② 創作太鼓の作曲・指導・育成
- ③ 太鼓演奏：蘭導による演奏活動
(イベント出演・劇場公演・小中学校の芸術鑑賞会など)
- ④ 太鼓イベント企画
- ⑤ 伝統芸能用各種楽器や衣装(獅子頭・鎧・駒など)の新調・修理
- ⑥ 取り扱い衣装(いろは・日本の歳時記・江戸一)・オリジナル衣装作成



〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字中田茂木72-1

TEL: 0187-69-2010 FAX: 0187-69-3369

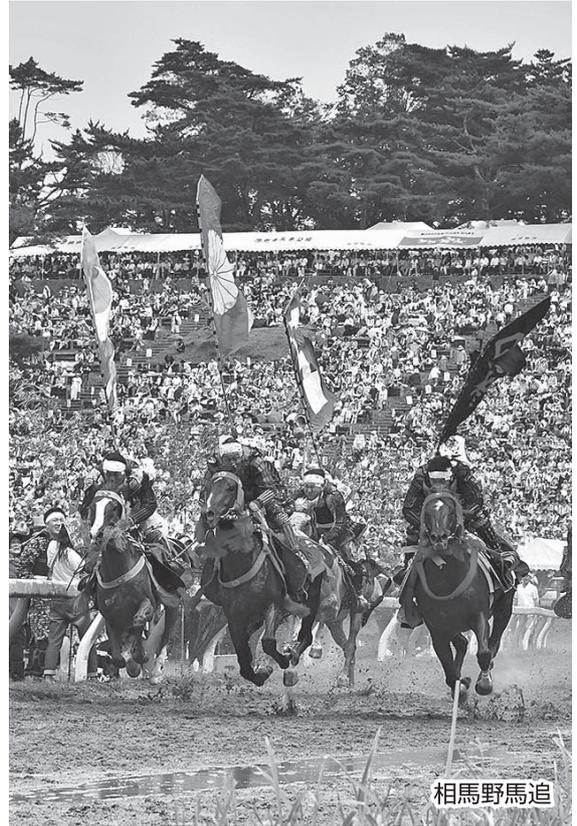
E-mail: info@s-taiko.co.jp

URL <http://www.s-taiko.co.jp>



三春滝桜

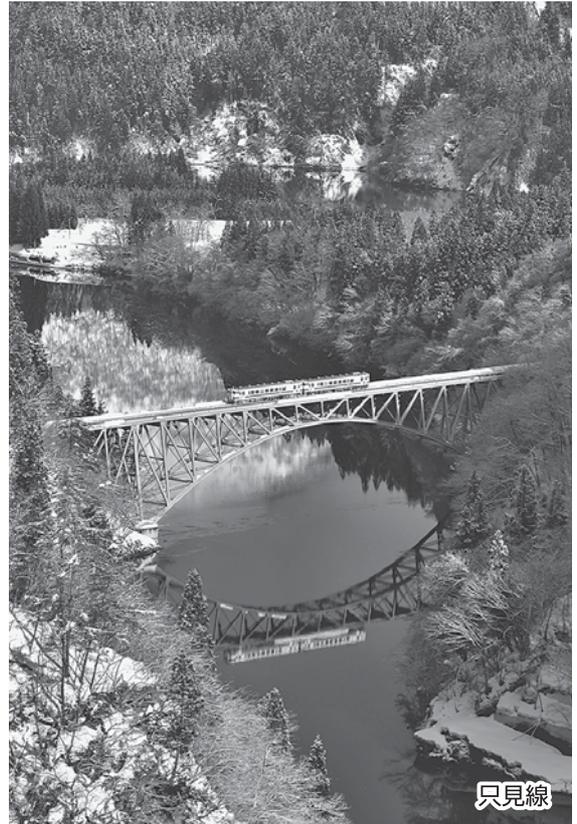
「日本」のふくしまをつくる



相馬野馬追



前沢曲家集落



只見線

 **福島民報社**

本社／福島市太田町13-17 ☎(024)531-4111(代)
URL <http://www.minpo.jp/>

ご購入のお申し込みは ☎0120-373-437



〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11番2号
Tel (03)6205-4377 Fax (03)6205-4378
URL : <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail : info@nippon-taiko.or.jp